第3章　視聴者

1．CS（視聴者満足）活動

「視聴者の声」をきちんと受け止め，それを基に，放送番組や業務の改革・改善を進め，視聴者サービスのより一層の向上を図っている。

「視聴者の声」を“経営資源”として，意向を的確に把握し，適切かつ迅速に業務に反映することに取り組んでいる。主な取り組みは，「月刊みなさまの声」や「NHK視聴者ふれあい報告書」などで視聴者に向けて報告した。

2．「ターゲット80」活動

「ターゲット80」は，17年度末の「支払率80％」達成を目指し，全局体制で営業活動を支援する公平負担徹底の取り組み。「大都市圏の営業支援」「地域局の営業支援」「公共放送・受信料制度の理解促進」を３本柱としている。大都市圏の公立小学校で開催した番組参加型視聴者イベント「NHKコミュニティースクール」，東京・大阪をはじめ全国で８本の地域発ドラマを制作・放送，学生など若年層の理解促進のために立ち上げた初めてのデジタルコンテンツ「キュン活ほっとらいん」の制作，各地の高齢者施設への出張収録番組『出張！お笑いエンジェル』，地域イベント向けの理解促進ブース「どーもくんパーク」の派遣など，地域局の視聴者活動を支援し，全国の支払率向上に貢献した。また，公共放送が提供する社会的価値を視聴者に訴える新たな資材を作成し，視聴者とのコミュニケーションを強化した。

3．事業活動

公共放送NHKだからこそできる多彩な公開番組やイベントを全国各地で1,734本実施し，1,067万人の視聴者との結び付きの強化を図った。イベント参加者へのアンケートでは，イベント満足度は全国平均で85.8％，NHKの事業活動への理解促進度は71.6％と，いずれも高位の数値を得た。また，アンケートの結果を新たなイベントの企画に生かすPDCAサイクルを推進した。

地域の要請に応じて全国各地で多彩な全国放送公開番組を実施したほか，『大河ドラマ』や『NHKスペシャル』などの番組と連動した展覧会，海外の有名オーケストラを招へいした公演など，国内外の優れた芸術や文化を紹介する事業に努め，“ホンモノの魅力”に触れる機会を積極的に創出した。

「福祉」「防災」「食料」などの社会的な課題に応えるキャンペーンや，未来を担う若い世代を対象としたイベント，８Kスーパーハイビジョンのプロモーションイベント，東日本大震災や熊本地震の被災者に向けた取り組みを積極的に推進した。

4．積極的な情報公開の推進と個人情報の適切な取り扱い

視聴者への説明責任を果たすために，積極的な情報公開に努めた。NHKが定める情報公開制度に基づき，17年度には32件の視聴者による「開示の求め」に対応した。また，インターネットを活用した情報提供も充実を図り，放送事業全体についての質問に答えるためにホームページに掲載している「よくある質問集」の内容を随時更新したほか，事業や財務等に関する情報もホームページ上に掲載した。各放送局の窓口等では，60の文書の備え置きも行っている。（表１）

また，個人情報保護法の趣旨を踏まえ，NHKとして，保有する視聴者の個人情報の適切な取り扱いに努めた。

5．広報活動

NHKに対する理解と信頼を高め，放送番組の視聴促進などを図るために多彩な広報活動を展開した。

「NHK経営計画（2018-2020年度）」，４K･８Kスーパーハイビジョン，ピョンチャンオリンピック・パラリンピックなどについて重点的に広報するとともに，『NHKスペシャル』『大河ドラマ』『連続テレビ小説』などさまざまな番組をPRした。

6．営業活動

17年度は「日常管理」の徹底により適正な営業活動を推進して視聴者から信頼される営業活動をゼロから再構築することを最重要活動とした。また，要員体制の整備を業績確保の根幹に位置づけ，訪問要員の確保に精力的に取り組んだ。併せて，各種法人・団体との連携に取り組むなど効果的な営業活動を推進した。

17年度，民事手続きによる支払督促の申し立てについては，全国で819件実施し，これまでの累計で9,861件の申し立てを行った。その後も支払いに応じなかった187件については強制執行の申し立てを行った。未契約者に対する民事訴訟については，100件提起し累計で364件となった。このうち最高裁に係属していた事件で17年12月６日，受信料制度は合憲であり，受信契約の締結は法的

義務であることを認める判決が出され，司法判断が確定した。

契約総数は，年度内に81万件（有料無料計）増加し，17年度末の契約総数（有料無料計）は4,397万件となった。

衛星契約については，設置確認メッセージの活用や契約案内メッセージの全国展開，ケーブルテレビ事業者と連携した活動の展開等により，年度

表１　公表の取り組み

公表している主な情報	公表方法	
	インターネットホームページ	文書の備え置き
経営委員会議事録	○	○
理事会議事録	○	○
NHK経営計画2018～2020年度	○	○
NHK経営計画2015～2017年度	○	○
中央放送番組審議会議事録	○	○
地方放送番組審議会議事録	○	○
国際放送番組審議会議事録	○	○
国内番組基準	○	○
国際番組基準	○	○
業務報告書，監査委員会の意見書	○	○
財務諸表，監査委員会の意見書，監査報告書	○	○
決算の要約，概要	○	
連結財務諸表，監査報告書	○	○
連結決算概要	○	
日本放送協会定款	○	○
収支予算，事業計画及び資金計画	○	○
収支予算，事業計画及び資金計画に関する資料	○	○
経理規程	○	○
役職員の服務準則	○	○
役職員の報酬・給与等の支給基準	○	○
NHK放送ガイドライン2015	○	○
国内放送番組編集の基本計画	○	○
国内放送番組編成計画	○	○
各地方向け地域放送番組編集計画	○	○
国際放送番組編集の基本計画	○	○
国際放送番組編成計画	○	○
インターネットサービス実施計画	○	○
NHKインターネットガイドライン2015	○	○
NHKの情報公開のあり方に関する提言	○	○
NHK情報公開基準	○	○
NHK情報公開規程	○	○
NHK個人情報保護方針	○	○
NHK個人情報保護規程	○	○
報道・著述・学術研究分野に係る個人情報保護規程	○	○
NHK情報公開・個人情報保護審議委員会規程	○	○
NHK情報公開・個人情報保護対応マニュアル	○	○
情報公開の実施状況・個人情報開示等の求めへの対応状況	○	
放送受信規約	○	○
放送受信料免除基準	○	○
業務委託基準	○	○

公表している主な情報	公表方法	
	インターネットホームページ	文書の備え置き
業務委託契約要領	○	○
番組制作の委託取引に関する自主基準	○	○
関連団体運営基準	○	○
関連団体の業務運営状況調査の結果	○	○
関連団体事業活動審査委員会の活動結果	○	○
NHKと関連団体との取引	○	○
関連団体事業活動審査委員会規程	○	○
子会社・関連会社の役員一覧	○	○
環境報告書	○	○
NHKことしの仕事	○日本語・英語	○
デジタル時代のNHK懇談会報告書	○	○
NHK“約束”評価報告書	○	○
視聴者視点によるNHK評価報告書	○	○
NHK第２次コンプライアンス委員会最終答申	○	○
NHK視聴者ふれあい報告書	○	○
月刊みなさまの声	○	
週刊みなさまの声	○	
「NHK倫理・行動憲章」「行動指針」	○	○
日本放送協会報		○
放送番組表	○	
放送制度等に関するNHK意見	○	
世論調査結果，調査研究成果	○概要	
会長・放送総局長会見要旨・資料	○	
報道発表資料	○	
随意契約の適正化	○	○
NHK年鑑	○	○
放送受信契約数統計要覧	○	○
月刊「放送研究と調査」	○	○
放送技術研究所「研究年報」	○日本語・英語	○
「NHK技研R&D」	○	○

内に80万件（有料無料計）増加し，17年度末の衛星契約数（有料無料計）は，2,146万件となった。

口座振替等については，年度内に91万件増加し，17年度末の利用件数は4,022万件となり，利用率は，98％となった。

視聴者対応

１．視聴者との窓口

（１）概要

17年度，全国のNHKに寄せられた視聴者からの意見や問い合わせは，合わせておよそ392万8,000件だった。16年度に比べて15万1,000件減少した。このうち放送への反響は，全国で119万5,000件だった。視聴者からの問い合わせに迅速・丁寧に答えるとともに，意見・要望を重要な経営資源として受け止め，番組制作や事業活動に反映させることに努めた。

（２）ふれあいセンター（放送）

ふれあいセンター（放送）では，寄せられた視聴者の意見・要望をデータ化し，速やかにフィードバックすることで，番組編成や制作現場における視聴者意向の反映につなげている。17年度にふれあいセンター（放送）で受け付けた視聴者からの意見・要望は，電話が79万件，メールが17万8,000件などで，合計99万2,000件であった。

17年度は，衆議院議員選挙の開票速報に合わせてふれあいセンター（放送）の電話時間を午前１

時まで延長したほか，コミュニケーターを対象に『ピョンチャンオリンピック・パラリンピック』『NHK紅白歌合戦』「平成30年度番組改定」など多数の問い合わせが予想される案件についての勉強会を実施するなど，視聴者対応の品質とスキルの向上を図った。

（３）NHKハートプラザ

本部・全国各放送局・一部支局の「NHKハートプラザ」では，訪れる視聴者からの意見や問い合わせにスタッフが直接対応している。また，放送局のハートプラザでは，経営計画や予算・決算書などの文書を取りそろえ，NHKの情報公開の窓口としても機能している。

本部のNHKハートプラザでは，来局者や投書などへの対応，情報公開の受付，番組公開ライブラリーの利用案内・管理，放送センターの見学・案内などを担当している。特に，中学・高校生などの職場訪問学習を積極的に受け入れていて，若い世代の視聴者にNHKを理解してもらう上で貴重な場となっている。17年度は，本部ハートプラザの窓口に9,700人が訪れ，手紙は１万300通が寄せられた。

２．視聴者意向の集約と活用

（１）意向の件数と内容

電話，メール，手紙，FAX，来局で，全国の放送局に寄せられた17年度の意向件数は392万8,000件だった。

番組や経営等に関して寄せられた意見の件数

（単位　千件）

内容別一覧

内容／年度	経営関係	放送関係	受信料関係	技術・受信相談	その他	合計
17	5	1,195	2,180	69	480	3,928

受付方法別内訳

区分	電話	投書	来局	ﾌｧｯｸｽ	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	その他	合計
件数	3,281	122	50	13	428	34	3,928
比率(%)	83.5	3.1	1.3	0.3	10.9	0.9	100

番組別では，『あさイチ』が３万2,600件で最も多く，次いで『NHKスペシャル』に３万2,200件，『ニュースウオッチ９』に２万8,700件，『NHKニュース　おはよう日本』に２万7,400件，『NHKニュース７』に２万4,100件などの意見・問い合わせが寄せられた。

（２）意向の集約と周知

ふれあいセンター（放送）や全国の各放送局に寄せられた意見・問い合わせなどを集約し，放送現場や番組編成の参考となるよう，その結果をさまざまな形で報告した。

１週間ごとに集約する「週刊みなさまの声」では，反響が多かった番組や注目すべき番組への主な意見内容，再放送希望の多い番組などを紹介しており，放送番組審議会の資料としても利用されている。「週刊みなさまの声」「月刊みなさまの声」はともに全役職員が閲覧できる視聴者対応システムにも掲載している。このほか，大きな反響が想定される番組や案件，経営に関わる案件については，視聴者意向を別途集約して，関係部局に周知している。

また，08年４月の放送法改正で，視聴者からの苦情を含めた意見に適切かつ迅速に対応し，その対応結果の概要を経営委員会に報告することが義務づけられたことに伴い，ふれあいセンターや本部各部局，全国の各放送局などに寄せられた意見・苦情などを取りまとめて「視聴者対応報告」を作成し，３か月に１回，理事会で審議決定し，経営委員会に報告している。

「週刊みなさまの声」の概要と「月刊みなさまの声」をNHKオンラインに掲載したほか，視聴者から寄せられた意見・要望，業務の改善事例などをまとめた年度報告の「NHK視聴者ふれあい報告書」を発行し，NHKオンラインにも公開した。

イベント事業

Ⅰ．全国放送公開番組

（１）地域要請に応じて実施した公開番組

総合テレビ：71本（『のど自慢』・下関市：台風18号により中止），Eテレ：23本，BSプレミアム：41本，ラジオ第１：133本，FM：14本，計282本の公開番組を，地方自治体などの協力を得ながら実施した。東日本大震災や熊本地震の被災地に公開番組を重点的に配置し『NHKのど自慢』（3.11，宮城県栗原市／9.24，熊本県阿蘇市）等，被災地に元気と笑顔を届けた。

（２）NHKホール・ふれあいホール・NHK大阪ホールで実施した公開番組

【定時番組（NHKホール）】

『うたコン』（26本）７万1,065人

『ザ少年倶楽部』（12本）３万3,906人

【定時番組（ふれあいホール）】
『セッション2017』（35本）7,468人
『みんなDEどーもくん！』（17本）3,518人
『ライブビート』（13本）3,031人
『ごごウタ』（19本）4,036人
『ごごラジ』（８本）1,587人
【主な定時番組（NHK大阪ホール）】
『うたコン』（８本）8,122人
【主な特集番組】
『LIVE　ザ・リアル』
４月24日　NHKホール　2,812人
『すっぴん！』
５月４日　ふれあいホール　236人
『劇ラヂ！ライブ2017』
５月５日　ふれあいホール　281人
『バナナマンの爆笑ドラゴン』
７月８日　ふれあいホール　234人
『熱いぜ！しゃべくり一直線』
７月15日　ふれあいホール　221人
『ザ少年倶楽部 in 大阪』
７月21日　NHK大阪ホール　1,116人
『NHK東西浪曲大会』
７月28日　イイノホール　495人
『第47回NHK講談大会』
７月29日　イイノホール　477人
『第49回　思い出のメロディー』
８月５日　NHKホール　2,689人
『残暑の夕べに　画のないアニメ館』
８月13日　ふれあいホール　309人
『語りの劇場グッとライフ　サマースペシャル』
８月14日　ふれあいホール　192人
『ライブハウス・R−1_プラス』
８月16日　ふれあいホール　203人
『SHIBUYAスタンダード倶楽部meets東京JAZZ』
８月31日　ふれあいホール　231人
『セッション2017 meets 東京JAZZ』
９月２～３日　ふれあいホール　558人
『The Covers' Fes. 2017』
10月12日　NHKホール　2,655人
『らじらー！in Nスポ！』
10月28日　ふれあいホール　237人
『語りの劇場グッとライフ　Nスポ！スペシャル』
10月29日　ふれあいホール　154人
『NHK東西浪曲大会』
11月25日　NHK大阪ホール　1,078人
『SONGS OF TOKYO』
11月25～26日　NHKホール　5,546人
『セッション・トゥナイト』
12月11日　ふれあいホール　236人
『わが心の大阪メロディー』
12月12日　NHK大阪ホール　942人
『アニソンアカデミー　スペシャル』
12月16日　ふれあいホール　264人
『新春民謡列島2018』
12月19日　ふれあいホール　238人
『語りの劇場　グッとライフ　ピョンチャン五輪直前スペシャル』
12月25日　ふれあいホール　193人
『第68回NHK紅白歌合戦』
12月31日　NHKホール　2,432人
『新春おめでた！しゃべくり一直線』
１月２日　ふれあいホール　190人
『J-MELO Rocks 2018』
２月７日　NHKホール　2,298人
『第47回日本農業賞　表彰式・日本農業賞記念コンサート』
３月10日　NHKホール　1,988人
『NHKのど自慢チャンピオン大会2018』
３月３日　NHKホール　2,544人
『今日は一日“失恋ソング”三昧』
３月21日　ふれあいホール　194人

（３）外部施設などで実施したNHK単独主催の公開番組

【主な公開番組】
『歌謡チャリティーコンサート』（２本）3,265人
『うたコン』（２本）2,301人
このほか『キャンパス寄席』『きらり！えん旅』や『旅ラジ！』などを実施した。

Ⅱ．公共放送ならではのイベント・キャンペーン

１．NHKハートプロジェクト

すべての人がともに生きる社会を目指し，NHKの福祉番組やイベントを取りまとめた福祉キャンペーン「NHKハートプロジェクト」を05年度から展開し，公共放送だからこそ可能な福祉への取り組みを総合的にアピールしている。

（１）NHK歳末たすけあい・NHK海外たすけあい

12月１日から25日まで中央共同募金会（歳末たすけあい），日本赤十字社（海外たすけあい），NHK厚生文化事業団とともに実施した。受付は，全国のNHK各放送局，郵便局，取り扱い標示の

ある金融機関，JA（農協），JF（漁協），共同募金会，日本赤十字社など。

歳末たすけあいは，４万1,332件，５億3,099万3,105円で，各都道府県共同募金会を通じて国内の福祉施設や支援を必要とする人々のために役立てられる。海外たすけあいは，８万1,331件，７億447万6,254円で，日本赤十字社を通じて世界各地の紛争や自然災害等に苦しむ人々のために役立てられる。

（２）第22回NHKハート展

障害のある人がつづった詩に込められた思いを，各界の著名人やアーティストがハートをモチーフにしたアート作品で表現した「詩とアートの展覧会」で，94年度から開催している。第22回は3,641編の詩の応募があった。展覧会は全国10会場で実施した。入場者４万2,791人。

（３）NHKハートフォーラム

『ハートネットTV　めざせ！いきいき長寿』公開収録や「認知症」「障害福祉」「発達障害」をテーマにしたフォーラムを全国25会場で実施した。入場者6,651人。／主催：NHK各放送局，NHK厚生文化事業団，開催地自治体ほか

（４）NHKハートスポーツフェスタ

障害のある人もない人も，スポーツを通じて交流することでお互いを尊重し合い，心のバリアフリーを図る福祉イベントとして，01年度から実施している。

17年度は，20年の東京パラリンピック開催に向けて，より障害者スポーツへの理解とパラリンピックへの関心を高めるイベントとして「パラリンピアンがやってきた！子どもたちとの交流教室」を関東地域を中心に全国８つの小学校などで実施した。種目は水泳，ブラインドサッカー，ボッチャ，ゴールボールなど。参加者1,499人。／主催：NHK各放送局，NHK厚生文化事業団，東京都障害者スポーツ協会ほか

（５）NHK介護百人一首

毎年，介護に関わる人々が日々の生活の中で詠んだ短歌を全国から公募し，100首を選定している。「NHK介護百人一首2018」には，１万2,234首の短歌が幅広い世代から寄せられた。

・Eテレの『ハートネットTV』で「介護百人一首」の公開収録をNHKふれあいホールで実施した。入場者211人。
・100首の短歌を収めた作品集を発行。
・「介護百人一首2017パネル展」をNHK各放送局ロビーなど，11会場で開催した。来場者１万6,919人。

（６）第52回NHK障害福祉賞

障害のある人やその支援をする人たち等の体験手記を募集し，優秀作品を表彰した。応募数は435編。

（７）NHK銀の雫文芸賞2017

「高齢社会をどう生きるか」をテーマにした文芸作品を募集し，優秀作品を表彰した。応募数は713編。

（８）第51回NHK福祉大相撲

人気力士と歌手の歌くらべや子ども力士が関取に挑戦するコーナー，幕内取組などを楽しんでもらうイベントを，18年２月10日に国技館で実施した。入場者4,186人。純益で福祉車両「福祉相撲号」を購入し，全国の福祉施設・団体に計６台を贈呈した。17年度までの贈呈台数は延べ309台。

２．公共放送キャンペーン

（１）NHK地域のキャンペーン

公共放送ならではの取り組みとして，これまで行ってきた「環境」「防災」関連イベントのほか，13年度からスタートした各放送局単位で地域特有の社会的な課題やニーズに応える「地域の課題」関連イベントを実施し，地域における公共放送の存在感を強くアピールした。

〔地域の課題　関連イベント〕

各放送局が地域課題に基づいて独自のテーマを設定し，地域放送を軸にして自治体など公共機関とも連携したイベントを全国５会場で実施した。参加者１万1,389人。

〔環境　関連イベント〕

03年度からスタートし，人類共通の課題である環境をテーマにしたイベントを全国で展開した。

①NHK環境キャンペーン　体験！エコゾーン

５月３～５日にNHK放送センターで実施した「渋谷DEどーも2017」内にコーナーを設けた。環境に関連した番組のワークショップ，親子で楽しめる人力発電遊具などのほか，環境問題に取り組む大学生と連携した体験型のブースを展開し，楽しみながら環境について考えるきっかけを提供した（渋谷DEどーも来場者６万9,004人）。

②地域イベント

全国８会場で開催。参加者7,690人。

〔防災　関連イベント〕

07年度からスタートし，“いざという時のNHK”をアピールするとともに，視聴者の防災意識を高めるイベントを全国で展開した。

①防災パーク2017

９月１日の「防災の日」に併せて，８月26～27日にNHK放送センターで開催。消防・警察の特

殊車両の展示や乗車体験，防災につながる各種体験（ワークショップ）などを実施した。来場者１万4,257人。

②地域イベント

全国９会場で開催。参加者１万6,868人。

（２）ふるさとの食　にっぽんの食

01年度より「日本の食文化の伝承」「地産地消」「食育」をテーマに全国で展開しているキャンペーン。JAやJFなどと実行委員会を組織し，全国的に推進している。

①全国フェスティバル

18年３月10～11日にNHK放送センターと代々木公園で開催。20年の東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成のため,「⇒2020つなげよう！伝えよう！にっぽんの食ゾーン」コーナー等を展開した。来場者４万8,754人。

②地域イベント

全国14会場で開催。参加者12万9,914人。

③食料フォーラム

６月と２月に東京都，10月に札幌市で開催。入場者1,210人。

Ⅲ．こども・青少年イベント

（１）おかあさんといっしょファミリーコンサート

①東京公演

春：５月３～６日，秋：11月２～５日，NHKホールで実施した。チャリティーの収益金は社会福祉の向上に役立てた。

入場者：（春・８公演）２万5,585人，（秋・８公演）２万5,310人

②地方公演

全国11会場（28公演）で実施した。チャリティーの収益金は，さまざまな社会福祉活動に役立てた。入場者３万7,898人。

（２）いないいないばあっ！あつまれ！ワンワンわんだーらんど

『いないいないばあっ！』の人気キャラクター・ワンワンほか出演者たちが，歌や踊りを繰り広げる番組連動型のステージショー。全国10会場（26公演）で実施した。チャリティーの収益金は，社会福祉向上に役立てた。入場者４万8,495人。

（３）おかあさんといっしょ宅配便「ガラピコぷ～小劇場」

『おかあさんといっしょ』のキャラクター「ガラピコぷ～」を，全国を巡回するミニステージショーとして51会場（101公演）で実施した。入場者４万6,375人。

（４）『おかあさんといっしょ』スタジオ収録～親子で遊ぼう！～

『おかあさんといっしょ』のうち，子どもが参加するコーナーの収録を実施した。３会場で収録し，計９本を制作。参加者数468人（３歳児とその保護者）。

（５）NHK放送体験クラブ

小学５・６年生を対象に，全国各放送局で番組作りの体験を通して，楽しみながら放送について学習するイベントとして実施した。全国38放送局で実施。参加した児童の様子や制作した作品は地域放送で紹介し，視聴者サービスに努めた。参加416校２万1,456人。

（６）「第84回NHK全国学校音楽コンクール」

都府県（北海道は地区），ブロックの各コンクールを経て選ばれた小学校・中学校・高等学校の代表各11校（組）が，10月７～９日にNHKホールで行った全国コンクールに出場した。課題曲のテーマは「夢」。金賞：日野市立七生緑小学校（５年連続５回目），町田市立鶴川第二中学校（２年ぶり３回目），大妻中野高等学校（初受賞）。

全参加校数：小学校の部885校，中学校の部1,171校，高等学校の部492校，計2,548校。

（７）第34回NHK杯全国中学校放送コンテスト

各都府県（北海道は地区）大会は６～７月に実施，全国大会決勝は８月18日，千代田放送会館で実施した。部門は，アナウンス・朗読・ラジオ番組・テレビ番組の４部門。参加校は全国で680校。各部門の参加数：アナウンス996人，朗読1,659人，ラジオ番組158作品，テレビ番組137作品。

（８）第64回NHK杯全国高校放送コンテスト

６月に各都道府県大会，７月25～27日に国立オリンピック記念青少年総合センター，27日にNHKホールで全国大会を実施した。部門は，アナウンス・朗読・ラジオドキュメント・テレビドキュメント・創作ラジオドラマ・創作テレビドラマの６部門。参加校は全国で1,677校。参加生徒数延べ１万6,293人。

（９）アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2017

全国の高等専門学校57校（62キャンパス）から124チームが参加して，競技課題に従い，自らのアイデアを駆使して想像力と技術力を競った。８地区からの選抜26チームが12月３日の全国大会（会場：有明コロシアム）に出場。地区大会からの参加者延べ１万5,956人。

（10）NHK学生ロボコン2017～ABUアジア・太平洋ロボコン代表選考会～

事前審査を通過した国内24チームが６月11日の大会（会場：大田区総合体育館）に出場した。参加者2,907人。優勝チーム・準優勝チームは，８月27日に東京・大田区で開催されたABUアジア・太平洋ロボットコンテストに出場した。

（11）ABUアジア・太平洋ロボコン2017東京大会

NHK学生ロボコンを勝ち抜いた日本代表２チームを含む，19チーム（18か国）が参加し，８月27日に大田区総合体育館で開催した。参加者2,662人。日本での開催は８年ぶり３回目。大会では，ベトナム代表チームが優勝を飾り，併せてABUロボコン大賞も受賞した。

（12）渋谷DEどーも2017

ファミリー層を主な対象に，放送と通信の融合時代にふさわしい「公共メディア」へ進化するNHKのさまざまな取り組みをアピールすることを柱に，５月３～５日にNHK放送センターで実施した。参加者６万9,004人。

（13）NHKサイエンス　スタジアム2017

「カガクをあそびつくそう」のキャッチコピーのもと，10月21～22日，日本科学未来館で実施した。『サイエンスZERO』『すイエんサー』など科学番組の公開収録のほか，『NHKスペシャル　シリーズ　人体　神秘の巨大ネットワーク』，「ロボコン」などの展示・体験・ワークショップなども実施。参加者３万7,839人。

（14）コズミックフロント☆MUSIC

４K･８Kの放送開始１年前の12月１日，『コズミックフロント☆NEXT』の４K映像と宇宙をテーマにした音楽のコラボレーションによるコンサート行い，SHVの魅力を体感してもらった。参加者2,026人。

Ⅳ．教育・教養イベント

（１）NHK文化祭2017

10月11～18日，NHK放送センターを中心に，教育番組の国際コンクール「日本賞」を実施。公開イベント「NHK文化祭2017たいけん広場」（11月３～４日）では，Eテレの番組をベースにした親子で楽しめるステージのほか，ワークショップ，会場内からの公開生放送や公開収録などを実施した。「ふるさとの食　にっぽんの食・東京フェスティバル」とも連動。来場者４万6,696人。

（２）放送教育関連イベント

①第68回放送教育研究会全国大会

10月27～28日に宮城県仙台市で，NHK for Schoolの番組やウェブサイトを活用した公開授業，実践発表，ワークショップなどを行い，放送教育の研究と交流を深める場となった。第21回視聴覚教育総合全国大会と合同で実施した。参加者延べ2,502人。

②放送教育研究会地方大会

各地方放送教育研究会などと共催し，全国８ブロックで地方大会を実施した。参加者4,243人。

※①の全国大会を東北大会と兼ねて実施しているため重複して参加者を集計。（表２）

③NHK for School×アクティブ・ラーニング実践ワークショップ

放送教育実践者による模擬授業やメディア教育研究者のワークショップを通じて，番組やウェブサイトの活用を支援する。全国８会場で実施した。参加者435人。

（３）NHK全国短歌・俳句大会

１月20日（短歌），21日（俳句），NHKホール

表２　2017年度「放送教育研究会地方大会」

ブロック	タイトル	日程	開催地	全体会会場	参加者数
北海道	第69回北海道放送教育研究大会　十勝・足寄大会	11月２日（木）	北海道帯広市	足寄町立足寄小学校	230人
東北	第58回放送教育研究会東北大会　宮城大会 兼第68回放送教育研究会全国大会　宮城大会	10月27日（金） 28日（土）	宮城県仙台市	東北学院大学土樋キャンパス・ホーイ記念館	2,502人
関東甲信越	第67回関東甲信越地方放送教育研究大会　長野大会	10月27日（金）	長野県諏訪市	諏訪市文化センター	504人
東海・北陸	第55回東海北陸地方放送教育研究大会 第49回愛知県放送教育特別研究会	８月23日（水）	愛知県名古屋市	ウインクあいち	140人
近畿	第66回近畿放送教育研究大会　京都大会 第67回近畿学校視聴覚教育研究大会　京都大会	11月17日（金）	京都府京都市	京都市生涯学習総合センター	187人
中国	第52回中国地方放送教育研究大会　岡山大会	10月24日（火）	岡山県岡山市	岡山市民会館	250人
四国	放送教育研究会四国大会　高松大会研修会 （小学校・中学校）	８月18日（金） 21日（月）	香川県高松市・丸亀市	全体会なし	325人
九州	第66回九州地方放送教育研究大会長崎大会	10月28日（金）	長崎県長崎市	ANAクラウンホテル　グラバーヒル	330人
				８会場計	4,243人

で実施した。NHK学園共催。応募は短歌４万6,187首，俳句９万6,221句。参加者は短歌1,248人，俳句2,228人。

（４）NHK公開セミナー

『大河ドラマ』「おんな城主　直虎」「西郷どん」，『コズミック　フロント☆NEXT』『NHKスペシャル　シリーズ　ディープ・オーシャン』などを題材に，NHK文化センター，地方自治体などと共催，全国で16回実施した。参加者4,856人。

（５）学校へ出向き実施するイベント

出演者や番組制作者が直接小・中・高等学校へ出向いてNHKとの接触の機会を作り，公共放送への理解を深めてもらった。

○NHKこども音楽クラブ～N響が○○小学校（中学校）にやってきた～

NHK交響楽団のメンバーが小・中学校に出向いて児童・生徒との交流を交えながら演奏を行うミニコンサート。17年度は全国の小・中学校11会場（うち，３会場が東日本大震災や気象災害の被災地）で実施し，クラシックの名曲を演奏した。参加者4,825人。

Ⅴ．美術・展博イベント

『大河ドラマ』や『NHKスペシャル』などの番組と連動したNHKならではの展覧会を開催した。特に『NHKスペシャル　シリーズ　ディープ・オーシャン』と連動して開催した特別展「深海2017」では，番組で紹介された希少な生物の標本を映像とともに紹介して話題となり，61万7,062人の入場者を記録した。

また，日本とチェコの国交回復60周年を記念した「ミュシャ展」では，アルフォンス・ミュシャが後半生を注いだ最高傑作「スラヴ叙事詩」全20作品を世界で初めてチェコ国外で紹介し，17年度最高記録となる66万1,906人の入場者を記録した。（表３）

Ⅵ．音楽・伝統芸能イベント

（１）NHK音楽祭2017

15回記念となった「NHK音楽祭」。「人は歌い、奏でつづける」をテーマに据えたオーケストラ公演を軸に，若者向けにゲーム音楽のコンサートや東京2020公認の野外コンサートを実施し，文化面からの盛り上げに貢献した。総入場者１万3,351人。

〔有料公演〕

①９月９日，NHK交響楽団

指揮：パーヴォ・ヤルヴィ，ソリスト：ヴィート・プリアンテほか，曲目：モーツァルト／歌劇「ドン・ジョヴァンニ」全２幕。入場者2,701人。

②10月１日，バイエルン国立管弦楽団

指揮：キリル・ペトレンコ，ソリスト：マティアス・ゲルネほか，曲目：ワーグナー／楽劇「ワルキューレ」第１幕ほか。入場者3,060人。

表３　2017年度　美術・展博イベント

展覧会名	主催	会場	開催年	開会日	閉会日	会期	入場者数（会場別）	総入場者数
特別展「人体－神秘への挑戦－」	国立科学博物館，NHK，NHKプロモーション，朝日新聞社。有料	国立科学博物館	2018（平成30）	３月13日（火）	６月17日（日）	88	495,375	495,375
至上の印象派展ビュールレ・コレクション	国立新美術館，東京新聞，NHK，NHKプロモーション。有料	国立新美術館	2018（平成30）	２月14日（水）	５月７日（月）	73	368,159	368,159
世界らん展日本大賞2018	世界らん展日本大賞実行委員会（読売新聞社，NHK，世界らん展組織委員会）。有料	東京ドーム	2018（平成30）	２月17日（土）	２月23日（金）	7	118,827	118,827
第17回　東京国際キルトフェスティバル　－布と針と糸の祭典－	東京国際キルトフェスティバル実行委員会（NHK，読売新聞社，東京国際キルトフェスティバル組織委員会）。有料	東京ドーム	2018（平成30）	１月25日（木）	１月31日（水）	7	215,681	215,681

展覧会名	主催	会場	開催年	開会日	閉会日	会期	入場者数（会場別）	総入場者数
アラビアの道－サウジアラビア王国の至宝	東京国立博物館，サウジアラビア国家遺産観光庁，NHK，朝日新聞社。有料	東京国立博物館表慶館	2018（平成30）	１月23日（火）	５月13日（日）	99	250,100	250,100
東京芸術大学創立130周年記念特別展「皇室の彩　百年前の文化プロジェクト」	東京芸術大学，NHK，NHKプロモーション。有料	東京芸術大学大学美術館	2017（平成29）	10月28日（土）	11月26日（日）	26	67,214	67,214
「表現への情熱カンディンスキー、ルオーと色の冒険者たち」	パナソニック汐留ミュージアム，NHK，NHKプロモーション。有料	パナソニック汐留ミュージアム	2017（平成29）	10月17日（火）	12月20日（水）	58	21,353	21,353
大英博物館国際共同プロジェクト展覧会「北斎-富士を超えて-」	あべのハルカス美術館，NHK大阪放送局，NHKプラネット近畿，朝日新聞社。有料	あべのハルカス美術館	2017（平成29）	10月６日（金）	11月19日（日）	40	266,118	266,118
京都国立博物館開館120周年記念特別展覧会「国宝」	京都国立博物館，毎日新聞社，NHK京都放送局，NHKプラネット近畿。有料	京都国立博物館	2017（平成29）	10月３日（火）	11月26日（日）	48	624,493	624,493
第64回　日本伝統工芸展	公益社団法人日本工芸会，開催地NHK放送局，朝日新聞社，文化庁（東京展のみ），開催地教育委員会など。一部有料	広島県立美術館	2018（平成30）	２月23日（金）	３月11日（日）	17	7,803	316,992
		大阪高島屋	2018（平成30）	２月16日（金）	２月20日（火）	5	11,766	
		福岡三越	2018（平成30）	２月２日（金）	２月７日（水）	6	8,324	
		仙台三越	2018（平成30）	１月24日（水）	１月29日（月）	6	14,606	
		香川県立ミュージアム	2018（平成30）	１月２日（火）	１月21日（日）	20	5,745	
		島根県立美術館	2017（平成29）	12月６日（水）	12月24日（日）	19	6,879	
		岡山県立美術館	2017（平成29）	11月16日（木）	12月３日（日）	17	5,428	
		石川県立美術館	2017（平成29）	10月27日（金）	11月５日（日）	10	7,332	
		京都高島屋	2017（平成29）	10月18日（水）	10月23日（月）	6	13,282	
		名古屋栄三越	2017（平成29）	10月４日（水）	10月９日(月･祝)	6	26,415	
		日本橋三越	2017（平成29）	９月20日（水）	10月２日（月）	13	209,412	
民芸の日本　－柳宗悦と『手仕事の日本』を旅する－	開催地NHK放送局，NHK地域関連会社，日本民芸館ほか。有料	ジェイアール名古屋タカシマヤ	2018（平成30）	２月23日（金）	３月５日（月）	11	20,830	121,468
		京都高島屋	2017（平成29）	12月14日（木）	12月25日（月）	12	17,304	
		大阪高島屋	2017（平成29）	９月27日（水）	10月９日(月･祝)	13	21,320	
		横浜高島屋	2017（平成29）	９月13日（水）	９月24日（日）	12	30,736	
		日本橋高島屋	2017（平成29）	８月30日（水）	９月11日（月）	13	31,278	
ゴッホ展　巡りゆく日本の夢	開催地美術館，開催地NHK放送局，NHK地域関連会社，北海道新聞社ほか。有料	京都国立近代美術館	2018（平成30）	１月20日（土）	３月４日（日）	38	183,446	752,811
		東京都美術館	2017（平成29）	10月24日（火）	１月８日(月･祝)	66	370,031	
		北海道立近代美術館	2017（平成29）	８月26日（土）	10月15日（日）	44	199,334	
ヨコハマトリエンナーレ2017「島と星座とガラパゴス」	横浜市，公益財団法人横浜市芸術文化振興財団，NHK，朝日新聞社，横浜トリエンナーレ組織委員会。有料	横浜美術館，横浜赤レンガ倉庫１号館，横浜市開港記念会館地下	2017（平成29）	８月４日（金）	11月５日（日）	88	259,032	259,032
特別展「地獄絵ワンダーランド」	開催地美術館，開催地NHK放送局，NHK地域関連会社ほか。有料	龍谷大学　龍谷ミュージアム	2017（平成29）	９月23日(土･祝)	11月12日（日）	44	32,289	73,482
		三井記念美術館	2017（平成29）	７月15日（土）	９月３日（日）	45	41,193	

展覧会名	主催	会場	開催年	開会日	閉会日	会期	入場者数（会場別）	総入場者数
特別展「深海2017～最深研究でせまる“生命”と“地球”～」	国立科学博物館，海洋研究開発機構，NHK，NHKプロモーション，読売新聞社。有料	国立科学博物館	2017（平成29）	７月11日（火）	10月１日（日）	79	617,062	617,062
2017年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」特別展「戦国！井伊直虎から直政へ」	開催地美術館・博物館，開催地NHK放送局，NHK地域関連会社ほか。有料	彦根城博物館	2017（平成29）	10月21日（土）	11月28日（火）	39	31,298	119,304
		静岡県立美術館	2017（平成29）	８月14日（月）	10月12日（木）	52	32,371	
		東京都江戸東京博物館	2017（平成29）	７月４日（火）	８月６日（日）	30	55,635	
アルチンボルド展	国立西洋美術館，NHK，NHKプロモーション，朝日新聞社。有料	国立西洋美術館	2017（平成29）	６月20日（火）	９月24日（日）	86	368,830	368,830
ボストン美術館パリジェンヌ展時代を映す女性たち	開催地美術館，開催地NHK放送局，NHK地域関連会社ほか。有料	広島県立美術館	2018（平成30）	４月11日（水）	６月10日（日）	61	20,404	124,341
		世田谷美術館	2018（平成30）	１月13日（土）	４月１日（日）	68	53,186	
		名古屋ボストン美術館	2017（平成29）	６月10日（土）	10月15日（日）	110	50,751	
第19回　国際バラとガーデニングショウ	国際バラとガーデニングショウ組織委員会（毎日新聞社，NHK，スポーツニッポン新聞社）。有料	メットライフドーム（旧西武プリンスドーム）	2017（平成29）	５月12日（金）	５月17日（水）	6	178,543	178,543
戦没画学生慰霊美術館「無言館遺された絵画展」	開催地美術館，開催地NHK放送局，NHK地域関連会社ほか。有料	呉市立美術館	2017（平成29）	９月16日（土）	11月19日（日）	57	9,429	15,353
		北海道立釧路芸術館	2017（平成29）	４月28日（金）	６月21日（水）	48	5,924	
特別展「茶の湯」	東京国立博物館，NHK，NHKプロモーション，毎日新聞社。有料	東京国立博物館平成館	2017（平成29）	４月11日（火）	６月４日（日）	49	245,795	245,795
京都国立博物館開館120周年記念特別展覧会「海北友松」	京都国立博物館，毎日新聞社，NHK京都放送局，NHKプラネット近畿。	京都国立博物館	2017（平成29）	４月11日（火）	５月21日（日）	36	164,701	164,701
国立新美術館開館10周年チェコ文化年事業「ミュシャ展」	国立新美術館，プラハ市，プラハ市立美術館，NHK，NHKプロモーション，朝日新聞社。有料	国立新美術館	2017（平成29）	３月８日（水）	６月５日（月）	79	661,906	661,906
茶碗の中の宇宙 樂家一子相伝の芸術	開催地美術館，開催地NHK放送局，NHK地域関連会社，日本経済新聞社ほか。有料	東京国立近代美術館	2017（平成29）	３月14日（火）	５月21日（日）	63	81,921	127,715
		京都国立近代美術館	2016（平成28）	12月17日（土）	２月12日（日）	45	45,794	
生誕130年　バーナード・リーチ展	開催地美術館・博物館，開催地NHK放送局，NHK地域関連会社，日本民芸館ほか。有料	鳥取県立博物館	2017（平成29）	４月15日（土）	６月４日（日）	51	6,037	26,808
		滋賀県立近代美術館	2016（平成28）	７月９日（土）	９月25日（日）	68	9,188	
		松本市美術館	2016（平成28）	４月21日（木）	６月５日（日）	42	11,583	

③11月９日，チャイコフスキー交響楽団
指揮：ウラディーミル・フェドセーエフ，ソリスト：ヴェロニカ・ディジョーエヴァほか，合唱：新国立劇場合唱団，曲目：チャイコフスキー／歌劇「エフゲーニ・オネーギン」全３幕。入場者2,027人。
④11月13日，ライプチヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団
指揮：ヘルベルト・ブロムシュテット，ソリスト：ハンナ・モリソンほか，合唱：ウィーン楽友協会合唱団，曲目：ブラームス／ドイツ・レクイエム 作品45。入場者2,583人。
⑤『シンフォニック・ゲーマーズ２　～よみがえる英雄たち～』
10月22日　NHKホール　入場者数1,815人
⑥『子どものためのコンサート オーケストラ大運動会！』
10月28日　代々木公園　入場者数1,165人

（２）NHKバレエの饗宴2017

日本を代表するバレエ団やダンサーたちがカンパニーの垣根を越えて集う，NHKならではのバレエ公演。17年は６回目の開催となった。

出演・演目：井上バレエ団／「ナポリ」第３幕から，貞松・浜田バレエ団／「死の島―Die Toteninsel」（新作初演），新国立劇場バレエ団／「テーマとバリエーション」，牧阿佐美バレエ団／「眠りの森の美女」から第３幕。

４月８日，NHKホール　入場者数2,016人。有料公演。

（３）NHK交響楽団演奏会地方公演

大阪公演／５月30日大阪市，NHK大阪ホール，指揮：井上道義，ピアノ：小林愛実，曲目：ビゼー／「アルルの女」組曲第１番，第２番，モーツァルト／交響曲第35番　ニ長調　K.385「ハフナー」，ピアノ協奏曲第23番　イ長調　K.488。入場者1,204人。有料公演。

東北公演／８月24日秋田市，８月25日盛岡市，８月26日弘前市，８月27日仙台市，指揮：広上淳一，ピアノ：キット・アームストロング，曲目：モーツァルト／ピアノ協奏曲第26番　ニ長調　K.537「戴冠式」，チャイコフスキー／交響曲第５番　ホ短調　作品64。入場者5,358人（４会場）。有料公演。

神戸公演／１月20日神戸市，指揮：ダーヴィト・アフカム，ピアノ：小山実稚恵，曲目：リヒャルト・シュトラウス／交響詩「ドン・フアン」作品20，歌劇「ばらの騎士」組曲，モーツァルト／ピアノ協奏曲第20番 ニ短調　K.466，ラヴェル／バレエ音楽「ラ・ヴァルス」。入場者1,929人。有料公演。

中国公演／３月９日倉敷市，３月10日呉市，３月11日山口市，３月12日益田市，指揮：ステファン・ブルニエ，ピアノ：上原彩子，曲目：ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第３番　ニ短調　作品30，ドボルザーク／交響曲第８番　ト長調　作品88。入場者5,085人（４会場）。有料公演。

（４）第61回NHKニューイヤーオペラコンサート

１月３日，NHKホール。有料公演。

ソプラノ：市原愛，大村博美，幸田浩子，小林沙羅，砂川涼子，中村恵理，嘉目真木子，盛田麻央，守谷由香，メゾ・ソプラノ：小泉詠子，清水華澄，林美智子，カウンターテナー：藤木大地，テノール：櫻田亮，笛田博昭，福井敬，藤田卓也，村上敏明，バリトン：上江隼人，黒田博，バス：妻屋秀和，合唱：新国立劇場合唱団，二期会合唱団，びわ湖ホール声楽アンサンブル，藤原歌劇団合唱部，管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団，ピアノ：山田武彦，指揮：沼尻竜典，司会：井上芳雄，髙橋美鈴アナウンサー。入場者2,924人。

（５）第44回NHK古典芸能鑑賞会

10月28日，NHKホール。有料公演。
①「月に舞う　空に奏でる～人間国宝　至芸競演～」
・舞囃子「融」／出演：大槻文藏ほか
・琉球舞踊「諸屯」／出演：宮城能鳳ほか
・文楽「関寺小町」／出演：豊竹呂勢太夫ほか
・長唄「二人椀久」／出演：東音 宮田哲男ほか
②歌舞伎　近松門左衛門作「平家女護島　俊寛」／出演：中村芝翫，坂東彌十郎，中村東蔵ほか。入場者1,595人。

（６）第16回　東京JAZZ

９月１～３日，NHKホールほか。有料公演。出演：山下洋輔　寿限無2017，ゴーゴー・ペンギン，チック・コリア，スティーブ・ガッドバンド，アル・ディ・メオラ，JAZZ100年プロジェクト directed by 挾間美帆 with デンマークラジオ・ビッグバンドfeaturingリー・コニッツ，コーリー・ヘンリー，トレメ・ブラス・バンド，アモーレ＆ルル，渡辺貞夫 CALIFORNIA SHOWER 2017ほか。入場者９万2,570人。

（７）第86回日本音楽コンクール

毎日新聞社と共催。各部門予選・本選を経て入賞者を決定。本選会は10月21～26日，東京オペラシティコンサートホール。入場者3,567人（本選会）。本選各部門の第１位は次のとおり。ピアノ部門：吉見友貴（桐朋女子高等学校音楽科２年），バイオリン部門：大関万結（桐朋女子高等学校音

楽科３年），チェロ部門：香月麗（桐朋学園大学３年），作曲部門：久保哲朗（東京芸術大学大学院在学中），声楽部門：鈴木玲奈（東京音楽大学大学院修了），ホルン部門：濱地宗（東京芸術大学大学院修了）。

（８）This is NIPPON プレミアムシアター

「Perfume × Technology」presents “Reframe” 3月20～21日，NHKホール。有料公演。

Perfumeの振付・ライブ演出を手がけるMIKIKOと，真鍋大度率いるクリエーター集団「ライゾマティクス」が参加し，テクノロジーのエンターテインメントが融合した新たな世界観の表現に挑戦。総入場者5,845人。

Ⅶ．スポーツイベント

（１）ラジオ体操・みんなの体操会

かんぽ生命保険，全国ラジオ体操連盟との共催。

①夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会

７月20日～８月31日，全国43会場で実施。ラジオ第１で生放送した。（※８月29日神奈川県茅ケ崎市での実施は北朝鮮ミサイル発射の影響により放送中止。イベントのみ）このうち，７月30日は新潟県長岡市で『第56回1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭』として実施。総合・ラジオ第１・国際放送で生放送した。参加者５万7,156人。

②特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会

夏期巡回期間を除く５月から10月に，全国９会場で実施。ラジオ第１で生放送した。参加者１万101人。

（２）2017NHK杯国際フィギュアスケート競技大会（第39回大会）

日本スケート連盟主催，NHK共催により11月10～12日，大阪市中央体育館（大阪府大阪市）で実施した。優勝は，〔男子シングル〕セルゲイ・ボロノフ（ロシア），〔女子シングル〕エフゲニア・メドベージェワ（ロシア），〔ペア〕隋文静／韓聡（中国），〔アイスダンス〕テッサ・バーチュー／スコット・モイヤー（カナダ）。参加選手は16か国・59人。入場者１万8,053人。

（３）天皇盃　第23回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

日本陸上競技連盟の主催，中国新聞，NHKの共催で18年１月21日に実施した。広島平和記念公園前をスタート・フィニッシュとする７区間48kmコース。埼玉県チームが３年ぶり２度目の優勝。観覧者27万5,000人。平和記念公園に設置した大型モニターで中継映像を公開。NHK広島放送センタービルでは「RUNナビ！ひろしま男子駅伝」を９日間実施した。来場者３万5,860人。

（４）皇后盃　第36回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会

日本陸上競技連盟の主催，京都新聞，NHKの共催で18年１月14日に実施した。京都市西京極総合運動公園陸上競技場をスタート・フィニッシュとする９区間42.195kmコース。兵庫県チームが14年ぶり４度目の優勝。観覧者33万9,000人。競技場に設置した大型モニターで中継映像を公開した。

（５）第73回びわ湖毎日マラソン大会

日本陸上競技連盟，毎日新聞社，滋賀県，大津市の主催，NHKの共催で18年３月４日に実施した。皇子山陸上競技場をスタート・フィニッシュとするコース。マチャリア･ディラング（ケニア）が優勝。日本人トップは中村匠吾（７位）。観覧者24万2,000人。皇子山総合運動公園に設置した大型モニターで中継映像を公開したほか，「小学生1,000m記録会」を実施した。

（６）第19回長野マラソン大会

日本オリンピック委員会，日本陸上競技連盟，長野県，長野市，信濃毎日新聞社の主催，NHKの共催で４月16日に実施した。長野運動公園をスタートし，長野オリンピックスタジアムをフィニッシュとするコース。男子は伊藤太賀（日本），女子はレイチャル･ジェムタイ･ムトガ（ケニア）が優勝。出場選手9,663人。観覧者23万人。ゴール近くのイベント会場で「NHK長野放送局ファミリーステーション」を展開した。

（７）オープンゴルフ選手権競技

日本ゴルフ協会の主催，NHKの共催で，男子・女子・シニアの３大会を実施した。会場に設置した大型モニターで中継映像を公開した。

①第27回日本シニアオープンゴルフ選手権競技

９月14～16日・18日（台風の影響により決勝が17日から18日に順延），ザ・クラシックゴルフ倶楽部　キング・クイーンコース（福岡県宮若市）で実施した。プラヤド・マークセンが２年連続優勝。入場者6,889人。

②第50回日本女子オープンゴルフ選手権競技

９月28日～10月１日，我孫子ゴルフ倶楽部（千葉県我孫子市）で実施した。畑岡奈紗が２年連続優勝。入場者３万2,663人。

③第82回日本オープンゴルフ選手権競技

10月12～15日，岐阜関カントリー倶楽部・東コース（岐阜県関市）で実施した。池田勇太が優勝。入場者１万7,089人。

（８）第97回天皇杯全日本サッカー選手権大会

日本サッカー協会，日本プロサッカーリーグの主催，NHKおよび共同通信社の共催で実施した。都道府県代表47チームとシード41チーム（J1-18，J2-22，ベストアマチュア-1）の88チームで４月22日～18年１月１日に実施。埼玉スタジアム2002（埼玉県さいたま市）での決勝戦（入場者４万2,029人）では，「セレッソ大阪」が優勝。大会を通じての総入場者31万3,881人。

（９）各都道府県サッカー選手権大会

45都道府県大会を各都道府県サッカー協会が主催し，NHKは主催または共催で実施した。各都道府県優勝チームは天皇杯の各都道府県代表として出場。

（10）第54回全国大学ラグビーフットボール選手権大会および第55回日本ラグビーフットボール選手権大会

大学選手権，日本選手権ともに，日本ラグビーフットボール協会が主催，NHKが共催で実施した。

大学選手権は11月26日～18年１月７日に実施。決勝戦は秩父宮ラグビー場（東京都港区）で行われ，帝京大学が９年連続９度目の優勝。大会を通じての総入場者６万9,173人。

日本選手権はトップリーグのレッドカンファレンス上位２チームとホワイトカンファレンス上位２チームのトーナメント戦で18年１月６日と13日に実施した。秩父宮ラグビー場での決勝戦では，「サントリーサンゴリアス」が２年連続優勝。大会を通じての総入場者６万1,197人。

（11）JAPAN CUP 2017チアリーディング日本選手権大会

日本チアリーディング協会の主催，NHKの共催で８月18～20日，東京体育館で実施した。215チーム3,043人が参加。優勝は，〔小学校部門（新設）〕あつぎチアリーディングチーム（神奈川県），〔中学校部門〕梅花中学校（大阪府），〔高等学校部門〕箕面自由学園高等学校（大阪府），〔大学部門〕梅花女子大学（大阪府），〔社会人部門〕チアリーディングチームREGULUS（神奈川県）。入場者２万3,682人。

（12）NHKスポーツパーク

NHK解説者や一流の講師によるスポーツ教室とトークショーなどを組み合わせた家族で楽しめる総合的なスポーツイベント。「松岡修造のテニスパーク」を全国２会場で実施した。参加者1,627人。

（13）NHKジュニアスポーツ教室

水泳，野球，ラグビー，陸上，卓球，バレーボール，バドミントン，バスケットボールの各競技を，NHK解説者をはじめとする一流の講師が全国９会場で指導した。総参加者1,137人。

（14）Nスポ！2017

20年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え，15年度に立ち上げた総合スポーツイベント。10月27～29日に放送センター，NHKみんなの広場ふれあいホール，代々木公園ケヤキ並木を会場に，オリンピック・パラリンピック種目をはじめとするさまざまな競技の体験，トップアスリートのデモンストレーションやトークステージ，スポーツ関連番組の公開収録など，スポーツを「観て，体験して，楽しむ」イベントとして実施した。東京2020公認プログラム。総来場者２万1,350人。

（15）ピョンチャンオリンピック　８Kスーパーハイビジョン パブリックビューイング

開会式とフィギュアスケートの全種目，スキージャンプ，スピードスケートのショートトラック，スノーボードのビッグエアを８Kスーパーハイビジョンで OBS（オリンピック放送機構）と共同制作して試験放送したほか，NHKみんなの広場ふれあいホール，東京ミッドタウン（東京都港区），パナソニックセンター東京（東京都江東区）など全国５会場で大画面によるパブリックビューイングを実施。超高精細映像と立体音響のだいご味を伝え，８Kの魅力と18年12月から始まる本放送開始をPRした。期間中の総来場者11万3,339人。

Ⅷ．東日本大震災等の復興支援イベント

（１）NHK公開復興サポート　明日へ

被災県に赴き，元気と笑顔を届けるべく，幅広い番組・イベントを短期間に集中して実施した。

５月６日に福島県南相馬市の南相馬市民文化会館，原町生涯学習センター，南相馬市原町区福祉会館，南相馬市労働福祉会館，小川町体育館を会場に，７番組と11イベント・展示を実施。総来場者5,147人。

10月15日に熊本県熊本市の尚絅学園・九品寺キャンパスを会場に６番組と５イベント・展示を実施。総来場者3,760人。

Ⅸ．会館公開・展示

１．NHKスタジオパーク

1965年「見学コース」として開設。85年「NHK展示プラザ」に名称変更，さらに95年３月22日，放送開始70周年を記念して現行の「NHKスタジオパーク」となった。07年６月に総入場者数1,000万人を達成した。11年には，４月から約半年休館し，10月にリニューアルオープン，15年８月には「NHKスタジオパーク」としての来場者数が1,500万人を突破した。17年度，１年間の入場者は59万4,016人となった。

【主な展示内容】

①８Kスーパーハイビジョン

360インチ大画面の臨場感あふれる超高精細映像と22.2chの立体音響を備えた次世代テレビ。

②CR-350スタジオ

新旧のNHK番組を大画面で上映。（２月下旬から改修工事のため閉鎖。18年４月に８Kリビングシアターとしてリニューアルオープン）

③アニメファクトリー

アフレコ体験などアニメの制作に触れる。

④クリエイティブラボ

映像と音を編集，オリジナル動画の制作を体験。

⑤スタジオパークNEWS

アナウンサーや気象キャスターに挑戦。

⑥CT-450スタジオ

『４時も！シブ５時』『土曜スタジオパーク』『日曜バラエティー』などの番組を公開。

⑦ネイチャーカメラマン

自然番組の撮影に使う特殊カメラの操作を体験。

このほか，レストランやショップなどがある。

所要時間：１時間半
開館時間：午前10時～午後６時（入館は午後５時30分まで）
休館日　：原則として毎月第４月曜（祝日・振替休日と重なる場合は，その翌日）
※休館日は変更あり
入場料　：大人200円，子供無料（高校生以下および18歳未満，65歳以上も無料。団体・20人以上の大人は150円）

２．みんなの広場　ふれあいホール

「みんなの広場　ふれあいホール」では，さまざまな公開番組やイベントなどを開催している。また，３階のギャラリーは展示スペースとして一般貸し出し（有料）を行っている。17年度は２万6,997人の利用があった。

開館時間：午前10時～午後６時
入場料　：無料

３．NHK放送博物館

東京放送局（NHKの前身）が大正時代にラジオの本放送を開始した東京都港区の愛宕山に，1956年，世界最初の放送専門ミュージアムとして開館した。さまざまな展示やイベントを通して，放送の歴史や魅力を紹介している。

現在の展示のコンセプトは，「放送の過去・現在・未来」。「過去」は，懐かしい放送番組の史料や放送を支えた貴重な技術機器の展示。「現在」は，ニュースキャスターや気象予報士体験ができる「放送体験スタジオ」。「未来」は，200インチ大型スクリーンと22.2マルチチャンネルで８Kスーパーハイビジョン放送の迫力を体感できる「愛宕山８Kシアター」。

８月25日に開館以来の入館者数が累計で500万人に到達。当日は上田NHK会長から500万人目の入館者に感謝状を贈呈するなど記念イベントを実施した。なお，17年度の入館者数は11万8,963人で16年度より１万1,500人増加した。

開館時間：午前９時30分～午後４時30分
入館料　：無料
休館日　：月曜（祝日開館），年末年始

〔17年度の主な取り組み〕

（１）企画展示

・特別展「東日本大震災　伝え続けるために」　17年３月７日～９月10日
・企画展「ヒロインたちの肖像　連続テレビ小説ポスター展」　９月30日～１月28日
・「減点パパ＋減点ファミリー展 初代三波伸介が描いた似顔絵から」　18年３月20日～７月８日

（２）主なイベント

・「特別展・東日本大震災」関連：講演会「NHKの災害報道～いのちとくらしを守るために」（NHK放送文化研究所上級研究員・入江さやか）５月21日／気象予報士講演会「気象災害から身を守るには」（NHK気象キャスター・関口奈美）７月30日／８K人形アニメーション「あの日まで」トーク＆ビューイング（遠藤綾子さん）９月２日
・夏休みキッズ＆ティーンズフェステバル関連：「中高生のための放送講座」７月31日～８月１日／「NHK放送博物館に中継車がやってくる」

８月11日／「ワン・ミニット・ムービー～冒険物語をつくろう」８月20日
・その他の講演会：講演会「もっと『探検バクモン』」（NHKエデュケーショナルシニアプロデューサー・相部任宏）５月18日／文化講演会「日本の文化芸能の在り方を考える」（薩摩琵琶奏者・友吉鶴心）９月28日／「トークセッション オリンピックと実況アナウンサー　1932ロサンゼルス～2018ピョンチャン」（NHKアナウンス室・工藤三郎アナウンサー）10月28日／『大河ドラマ』「西郷どん」講演会（NHKドラマ番組部チーフプロデューサー・櫻井賢）12月３日／文化講演会「子どもたちに昆虫とのふれあいを」（群馬県立ぐんま昆虫の森名誉園長・矢島稔，16年度放送文化賞受賞者）３月25日
・定期開催イベント：「８Kコウダン」（講談師・宝井琴梅）７月11日，11月14日／「愛宕山コンサート」（薩摩琵琶奏者・友吉鶴心）４月20日，１月26日／「プレミアムシネマ・トーク」（NHK編成局チーフプロデューサー・坂本朋彦）６月24日，10月21日，２月24日／「みんなの健康教室」５月20日，７月８日，９月16日，11月11日，１月13日，３月10日
（上記の他，８K試験放送の目玉番組を紹介・視聴する８Kビューイングを，年間を通して実施）

（３）移動放送博物館の開催

姫路支局６月17～18日／沖縄局７月24～30日／奈良局９月16日／帯広局10月14～15日／甲府局12月16～17日

（４）収集・保存を行った主な資料

・文書：「週刊NHKラジオ新聞」（昭和29年１月３日号）／「わろてんか」広報関係資料／「半分、青い。」広報関連資料
・台本：スペシャルドラマ「妻たちの新幹線」／土曜ドラマ「ダークスーツ」／土曜ドラマ「ちゃんぽん食べたか」／特集ドラマ「クロスロード」／NHKBS時代劇「大岡越前３」／土曜時代劇「忠臣蔵の恋」／大河ファンタジー「精霊の守り人」／大河ドラマ「龍馬伝」
・機器：／ポータブル６mm録音機PT-6／混信式分離測定用方向探知機／ディスクカメラ装置一式／National R-1記念ラジオ復刻モデル／ナショナルカラーテレビCT-31PN／HVロボットカメラ／VTR一体型カメラBCW-2N
・その他：聴取加入百万記念小物／土門正夫アナウンサー取材アルバム／「のど自慢」チャンピオントロフィー／「68回紅白」蛍の光指揮棒

（５）その他

日本博物館協会，全国科学博物館協議会，東京都博物館協議会，産業文化博物館コンソーシアム（COMIC），港区ミュージアムネットワークの活動を通して，博物館活動の底上げに取り組んだ。また，地元の港区と連携し「ミナコレスタンプラリー」や「ミナコレバスツアー」を実施した。

NHKの情報公開

１．NHKの情報公開の特色

01年７月に開始したNHKの情報公開の主な特色は，次の３点である。

（１）国や地方自治体，独立行政法人のように法律・条例によって義務付けられて行うのではなく，NHKが自主的に実施するものである。受信料は税金ではないこと，また，NHKは報道機関であることから，NHKの自主・自律を重んじた制度となっている。

（２）放送番組や放送番組の編集に関する情報を記録した文書については，「開示の求め」の対象外としている。NHKが公共放送としての使命を果たしていくためには，放送番組編集の自由の確保が不可欠である。もし番組そのものや，番組素材，その制作・編成に関する文書を開示すると，自由な番組編集に支障が生じ，ひいては公共放送としての使命が果たせなくなることから，「開示の求め」の対象外とした。そのうえで，可能な範囲で関係情報の提供に努めていく。

（３）NHKの不開示等の判断に対して，第三者機関による公正・客観的なチェックの仕組みを整えている。外部の有識者で構成される「NHK情報公開・個人情報保護審議委員会」が，視聴者からの「再検討の求め」があった際に，審議委員会としての意見をNHKに述べる。NHKは，その意見を尊重して最終判断を行う。

２．NHKの情報公開の仕組み

NHKの情報公開は，基本的枠組みを定めた「NHK情報公開基準」（00年12月制定）と，それをさらに具体化した「NHK情報公開規程」（01年６月制定）に基づいて進められている。この情報公開規程は，情報公開基準に基づき情報公開を実施していくために必要な事項を定めている。主な内容は次のとおり。

（１）「開示の求め」の対象となる文書

NHKの役職員が業務上共用するものとして保

有している文書（電磁的に記録されたものを含む）が，「開示の求め」の対象となる。ただし，放送番組編集の自由を確保する観点等から，次のものについては対象外となる。

①放送番組および放送番組の編集に関する情報を記録したもの（放送番組の企画，取材，収録等について記録した文書など。ハードディスク・DVD等を含む）。

②書籍，雑誌等不特定多数の者に販売することを目的として発行されるもの。

③歴史的もしくは文化的な資料または学術研究用の資料としてNHK放送博物館等において特別の管理がされているもの。

（２）「開示の求め」ができる者

NHKの放送の視聴者。

（３）受付場所・方法

NHK放送センター，全国の放送局に，日本語で記入した「開示の求め」および「開示の求め手数料」を持参または郵送で提出する。

（４）開示できない文書

「開示の求め」の対象となる文書は，原則として開示する。ただし，次の情報（不開示情報）が記載されている場合を除く。

①NHKの権利利益，地位，事業活動に支障を及ぼすおそれがあるものや，特定の者に利益もしくは不利益を及ぼすおそれがあるもの。

②NHK内の審議，検討，協議が円滑に行われることを阻害するおそれがあるもの。

③特定の個人を識別できるものや，個人の権利利益を害するおそれがあるもの。

④NHK以外の法人，団体，個人事業主の権利等を害するおそれがあるもの。

⑤NHKの保安に支障を及ぼすおそれがあるもの。

⑥契約によりNHKが守秘義務を課せられているものや，契約の相手方が開示を承諾しないもの。

（５）開示・不開示等の判断までの期間

開示の求めを受け付けた翌日から30日以内に開示・不開示等を判断し，書面により連絡する。

（６）開示の実施方法

視聴者が開示の連絡を受けた日から２週間以内に，閲覧またはコピーを提供する（電磁的に記録されたものについては，プリントアウトし，閲覧またはコピーを提供する）。

（７）費用

閲覧のためにコピーやプリントアウトが必要な場合も含め，次の費用（税込み）は視聴者負担となる。

・開示の求め手数料：１件につき300円
・開示実施手数料
　白黒コピー　　：１枚につき10円
　カラーコピー　：１枚につき50円
・郵送料　　：実費

（８）「再検討の求め」

開示・不開示等の判断結果について，視聴者は２週間以内に「再検討の求め」ができる。その場合NHKは，NHK情報公開・個人情報保護審議委員会に諮問し，その意見を尊重して開示・不開示等の最終的な判断を行い，直ちに書面により視聴者に連絡する。

（９）実施状況の公表

実施状況について，毎月，NHKの公開ホームページで公表する。

３．「開示の求め」

（１）受付状況

17年度は，全国の放送局において，９人の視聴者による32件の開示の求めがあった。

（２）「開示の求め」の内容

17年度に受け付けた32件の内訳は次のとおりとなっている。（表４）

表４　「開示の求め」の内訳

分　野	件　数	割　合
経営	０件	0.0%
放送	８件	25.0%
営業	８件	25.0%
技術	０件	0.0%
広報・事業	１件	3.1%
総務・経理	15件	46.9%

（３）判断結果

17年度に受け付けた32件について判断を終えた。（表５）

表５　「開示の求め」判断結果

判断結果	件　数	備　考
開　示	18件（A）	うち，一部開示６件
不開示	８件（B）	
対象外	６件	

（４）開示率（A／（A＋B））

32件についての開示率は69.2％である。

４．NHK情報公開・個人情報保護審議委員会

NHK情報公開･個人情報保護審議委員会は,「開示の求め」に対するNHKの開示・不開示等の判断を不服とする視聴者から「再検討の求め」があった場合に審議を行い，NHKに意見を述べる第三者機関（会長の諮問機関）である。

（１）委員

NHK情報公開・個人情報保護審議委員会の委員は，５人以内で，経営委員会の同意を得て会長が委嘱する。任期は１期２年とし，原則は２期を限度とするが，会長判断でさらに再任することができると審議委員会規程で定めている。17年度末現在，次の方々に委員を委嘱している。

委　員　長　斎藤　誠　　氏
（東京大学大学院法学政治学研究科教授）
委員長代行　藤原　静雄　氏
（中央大学法科大学院教授）
委　員　　椿　　愼美　氏（公認会計士）
委　員　　関　　葉子　氏
（弁護士・公認会計士）
委　員　　安藤　俊裕　氏
（元日本経済新聞社論説副委員長）

（２）開催回数

17年度，NHK情報公開・個人情報保護審議委員会は，10回開催された。

５．「再検討の求め」

（１）受付状況

17年度は，NHKが開示・不開示等の判断をしたもののうち，６件について再検討の求めを受け付けた。

（２）審議結果

17年度，NHKはNHK情報公開・個人情報保護審議委員会に25件について諮問し，25件の答申を受けた（表６）。NHKは，すべての案件について，審議委員会の答申どおりの最終判断を行った。

表６　2017年度審議結果

審議結果	件　数
当初判断どおり一部開示・不開示が妥当	23件
一部開示の範囲を広げるか，開示が妥当	１件
不開示ではなく一部開示・開示が妥当	１件

NHKの個人情報保護

１．個人情報保護法

（１）個人情報保護法の施行と改正

05年度施行「個人情報の保護に関する法律」(個人情報保護法。以下「法律」という）が定める「個人情報取扱事業者」にNHKも該当することから，個人情報の取り扱いを適正に行うことが求められている。なお，法律の施行から10年余りが経過し，消費者や事業者を取り巻く環境がさまざまに変化したことから，15年度に法律の改正が行われ，17年度に全面施行された。

（２）法律の義務の適用除外

この法律が成立する過程で，個人情報保護に関する「利用目的による制限」「適正な取得」「正確性の確保」「透明性の確保」といった基本原則が，「表現の自由」「報道・取材の自由」などの基本的人権を制約するおそれがあるとの指摘が，メディアを中心になされた。このため，法律は，報道機関が報道目的で個人情報を取り扱う場合，著述を業とする者が著述目的で個人情報を取り扱う場合などは，個人情報取扱事業者としての義務の適用を除外している。その一方で，事業者が自主的に個人情報の適正な取り扱いについての措置を講じ,それを公表するよう努めることを求めている。

２．NHKの個人情報保護の取り組み

（１）NHKの取り組み

①NHK個人情報保護方針

NHKにおける個人情報保護に関する最上位の規程で，法律上の義務が適用除外となる報道・著述・学術研究分野を含め，NHK内の個人情報全般の取り扱いについて宣言的に定めている。

②NHK個人情報保護規程等

法律上の義務の適用を受ける分野（営業・事務分野等）を対象に，実務上の手続きを中心に定めている。改正された法律の全面施行にあたり，17年４月,「NHK個人情報保護規程」を改正するとともに,「第三者提供等に係る記録の作成等に関する規程」および「匿名加工情報取扱規程」を新たに制定し，５月施行した。

視聴者本人から「個人情報　開示等の求め」が出された場合，原則として視聴者が求める措置を行うこととなるが，開示するとNHKの業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合等は，求められた措置を行わなくてもよいとされ

ている。

このような場合の救済策として，法律上の要請はないが，NHKとして自主的に，視聴者からの「再検討の求め」を受け付け，第三者機関であるNHK情報公開・個人情報保護審議委員会において審議することとしている。

③報道・著述・学術研究分野に係る個人情報保護規程

法律上の義務が適用除外となる報道分野等について，自主的に，安全管理や苦情への対応について定めている。なお，改正された法律の全面施行に併せて，17年４月，規程の改正を行い，５月施行した。

（２）NHKにおける個人情報の管理・責任体制

NHKにおける個人情報の管理は，副会長がこれを統括し（報道分野等については放送総局長），各部局においては，各部局長が全責任を持って管理することとしている。

17年度においては，個人情報の漏えいが７件発生した。これらの事案はいずれもホームページで公表するなどしているが，NHKとして，今後はこのような事態が起きないよう，個人情報管理体制の整備を進め，個人情報の適切な取り扱いに努めていく。

（３）個人情報の開示等の求めへの対応状況

17年度に視聴者本人から出された「個人情報開示等の求め」は，開示の求めが20件あり，判断結果は表７のとおりである。

表７　「個人情報　開示等の求め」への対応

判断結果	件
開示	16件
一部開示	２件
不開示	２件

（４）「個人情報　再検討の求め」の審議状況

17年度に受け付けた個人情報に関する再検討の求めは１件で，NHK情報公開・個人情報保護審議委員会に諮問した。

広　報

Ⅰ．経営広報

１．会長会見とマスコミ対応

会長定例記者会見をはじめ，臨時の記者会見，ブリーフィング，個別の取材対応などを通じて，NHKの経営情報などを多角的に発信した。

会長定例記者会見は原則月１回。会長と副会長，それに関係役員が出席して，NHKや放送を取り巻く状況などについて説明した。

定例以外では，受信料制度等検討委員会の答申（７月）や，記者の労災認定（10月），次期経営計画の策定（１月）などについて記者会見を開催したほか，受信料の未契約世帯に対する裁判の最高裁判決を前に記者向けの勉強会（10月）を実施し理解促進を図った。また，営業の不正手続きに関する全国調査の結果（６月）や技術系子会社の経営統合（12月），試験的提供Bの結果（３月）などを広報し取材対応を行った。

特に経営情報では，次期経営計画の策定等に向けた受信料制度等検討委員会の答申やパブリックコメントを発信した。また，上田会長就任半年と１年の節目にマスコミのインタビューを実施するなどして公共メディアの意義などについて丁寧な説明に努めた。

受信料に関しては，３か年経営計画で掲げた「支払率80%」達成に向けて堅調に推移していることや受信料の未契約世帯に対する裁判の最高裁判決の意義，それに常時同時配信が実現した際の受信料の負担の在り方や，受信料体系の在り方など受信料制度とその運用の在り方について検討をする「受信料制度等検討委員会」の答申などを随時発表した。

防災・減災報道については，７月に九州北部を襲った記録的な豪雨で，地域放送の枠を拡大して伝えていることやインターネットでも放送と同時提供を行っていることを紹介したほか，氾濫の危険性の高い河川を示してリアルタイムに解説する新しい取り組みを始めたことなどを広報した。

スポーツイベントでは，ピョンチャンオリンピック・パラリンピックの放送をはじめ，試験的提供などの同時配信やハイライト動画などのインターネットを使った取り組みを紹介。パラリンピックについても，副音声を使った詳細な実況や手話を活用するなどした「ユニバーサル放送」やロボット実況など東京大会に向けたNHKの新たな取り組みをアピールした。また，東京大会での活躍を目指す障害者のリポーターの取材会なども実施したほか，本放送が始まるスーパーハイビジョンのパブリックビューイングの実施状況を広報した。

◇会長定例記者会見の主な内容

４月　新年度のスタートにあたって
　　平成28年度の営業業績（見込み）について
　　大英博物館との国際共同制作について

「技研公開2017」について
５月　新体制の発足にあたって
平成28年度決算（速報値）・営業業績について
６月　平成29年度第１期末の営業業績（見込み）
「世界パラ陸上選手権」の放送について
障害者のキャスター・リポーターの募集について
７月　九州北部の豪雨について
子会社の配当について
ABUロボコン2017東京大会
９月　第44回日本賞について
平成29年度第２期末営業業績（確定値）について
「世界パラ競泳メキシコ」の放送について
下半期への抱負について
10月　衆議院選挙の放送について
平成29年度上半期営業業績（見込み）について
「2020東京オリンピック・パラリンピック1000日前の取り組み」について
NHK杯国際フィギュアスケートの放送について
11月　「４K･８K実用放送開始１年前イベント」
ABUアジア太平洋放送連合総会について
NHK歳末・海外たすけあいについて
12月　「NHKグループ働き方改革宣言」について
ピョンチャンオリンピックの放送概要について
紅白のエンディング指揮者決定と８Kパブリックビューイングについて
平成29年度第４期末営業業績（見込み）について
１月　新年にあたって
年末年始の主な番組について
ピョンチャンパラリンピックの放送について
２月　就任１年にあたって
平成29年度第５期末営業業績（見込み）について
３月　ピョンチャンオリンピックの放送を終えて
第69回日本放送協会放送文化賞

◇その他の主な記者会見など

・受信料都道府県別推計世帯支払率（5.28）
・営業不正手続き全国調査の結果（6.26）
・受信料制度等検討委員会答申（7.25）
・記者の労災認定（10.4）
・営業の個人情報紛失（10.4）
・営業職員の懲戒処分（12.21）
・技術系子会社の経営統合へ（12.26）
・NHK経営計画2018-2020年度（1.16）

２．国際広報

定例の会長会見や放送総局長会見，個別の取材対応，国際イベントなどを通じて，NHKの経営情報，国際放送や海外展開の取り組みなどを国内外に発信した。

３か年経営計画（2015-2017年度）の柱の一つとして位置づけられている「国際発信の強化」については，「NHKワールドTV」の新しい番組や取り組みを定例会見などで詳しく紹介。ワールドTV初のオリジナルドラマや，落語を取り込んだ旅番組などをPRしたほか，歌舞伎の魅力を紹介する番組『KABUKI KOOL』の新しい出演者の取材会を開催した。また，日本発の国際放送であることをより認識してもらうため，18年度から名称を「NHKワールドJAPAN」に変更することを報道資料や取材会などを通じて告知したほか，インターネット分野では，放送後の番組をインターネット上で視聴できるビデオオンデマンドサービスについてこれまでの英語，中国語以外にタイ語など５つの言語版が新たに追加されたことを広報した。

また，海外展開事業についても内外に積極的に発信した。４月の会長会見で，イギリスの大英博物館と葛飾北斎の作品をテーマにした番組の国際共同制作を行うことを発表した。

さらに国際イベントでも積極的に広報対応を実施した。８月，NHKが加盟しているABU（アジア太平洋放送連合）のロボットコンテスト「ABUロボコン」が東京で開催された際は，会場にプレスルームを設置し内外メディアからの問い合わせに応じた。11月に中国の成都で開催されたABUの年次総会では，現地に職員を派遣し，上田会長のABU副会長への選出について報道資料を作成し内外メディアにリリースした。

20年の東京オリンピック・パラリンピックを念頭にオリンピック・パラリンピック関連の報道資料は積極的に英語版でもリリースするよう取り組んだ。

広報資材としては，NHKの紹介冊子の英語版「NHK CORPORATE PROFILE 2017-2018」の英語，中国語，韓国語の３か国語版を制作した。

◇17年度の主な報道発表（日本語・英語）

・大英博物館との国際共同制作について（4.6）

・『RAKU×GO 落語で旅するニッポン』（4.19）
・「技研公開2017」の開催について（4.28）（英語のみ）
・世界パラ選手権の放送について（6.8）（英語のみ）
・“原爆の絵”は語る（6.29）（英語のみ）
・「ABUロボコン2017」８年ぶりの東京開催！（7.6）
・「ABUロボコン2017」ベトナム代表のラクホン大学が優勝（8.27）
・世界パラ競泳メキシコの放送について（9.7）（英語のみ）
・NHKワールド初のオリジナルドラマ『ホーム・スイート東京』（9.20）
・NHK国際放送　VOD多言語サービス本格スタート（10.2）
・第44回「日本賞」グランプリ決定（10.18）（英語のみ）
・障害者キャスター・リポーター発表（10.23）（英語のみ）
・『アニ×パラ　あなたのヒーローは誰ですか』（10.23）（英語のみ）
・上田会長がABU副会長に選出（11.4）
・国際放送『SONGS OF TOKYO』の放送決定について（12.7）（英語のみ）
・ピョンチャンパラリンピックの放送について（1.11）（英語のみ）
・次期経営計画の発表／NHKワールドJAPANへの名称変更（1.16）（英語のみ）
・ピョンチャンオリンピック・パラリンピックのユニバーサル放送について（1.24）（英語のみ）
・障害者のキャスター３人目発表（1.24）（英語のみ）
・NHKワールドTV　新年度番組改定について（2.21）

３．技術広報

NHKは豊かな放送文化の創造に向け，新たな放送技術の研究や開発，実用化，普及において先導的な役割を果たしている。この様な放送技術分野での取り組みや成果について情報を発信した。

４K･８K試験放送や18年12月に開始予定の本放送については，設備の開発や最新のコンテンツの紹介などを積極的にPR展開した。

（１）４K･８KスーパーハイビジョンのPR

会長定例記者会見，取材対応を通じてスーパーハイビジョンに関する取り組みを紹介したほか，最新コンテンツ，設備，新技術の開発に関する取材にきめ細かく対応し，認知の向上に努めた。

（２）放送技術の研究・開発の広報

NHKが担っている放送技術の研究・開発における先導的な役割について，機会を捉えて国内外に広くPRした。最新の研究成果を広く一般に公開する「技研公開」については，会長定例記者会見で見どころを紹介したほか，プレスツアーを実施してマスコミを通じた広報を行った。

（３）イベントを通じた技術広報

「センバツ高校野球」「大相撲」「NHK紅白歌合戦」「ピョンチャンオリンピック」などのイベントに併せて全国各地で実施した８Kパブリックビューイングや，「IBC」「Inter BEE」「NAB」などの国内外の放送機器展での最新機器やコンテンツの展示による広報を通じて，NHKの技術の取り組みの理解促進を図った。

（４）印刷物やホームページでの広報

番組制作，緊急報道，番組送出，送信・受信技術，技術研究などにおけるNHKの技術部門の取り組みを紹介する冊子「NHKの技術2018」を発行した。18年度からの３か年経営計画に沿って18年12月に開始される４K･８K本放送開始に向けた設備整備やコンテンツの開発状況を紹介したほか，NHKが実施しているネットサービスにおける技術の役割を，最新の取り組みとして説明した。

（５）主な報道発表

・「技研公開2017」の開催について～2020年へ，その先へ，広がる放送技術～（4.6）
・８Kディスプレーを用いたVRシステムを開発～超高精細画像によるVRを実現～（5.23）
・多視点ロボットカメラによるインテグラル立体撮影技術を開発～ダイナミックに動く被写体も高品質に立体撮影～（5.23）
・三次元被写体追跡スポーツグラフィックスシステムを開発～スポーツ中継のライブ映像をより分かりやすく～（5.23）
・色純度が高い緑色有機ELデバイスの開発に成功～有機ELディスプレーの広色域化を目指して～（5.23）
・「Inter BEE 2017」への初出展について～８Kスーパーハイビジョン　制作から受信まで～（11.8）
・「第47回　番組技術展」「第72回　技研公開」の日程を決定（1.24）
・第47回　番組技術展～放送現場のアイデアから生まれる技術を紹介～（3.19）
・最新の８Kコンテンツ・制作機材を「NAB SHOW 2018」に出展（3.30）

Ⅱ．番組広報

１．放送総局長記者会見と番組取材会

原則月１回，放送総局長の定例記者会見を開いてNHKの番組を広報した。番組の解説やPR映像の上映などを交え，見どころや魅力を紹介した。

番組改定や夏の特集，年末年始特集については冊子を発行し，総局長会見などで詳細を紹介した。併せて，テレビ情報誌などを対象に説明会を開くなどして，同様の情報をきめ細かく提供した。

『大河ドラマ』『連続テレビ小説』などのドラマ番組，『NHKスペシャル』といった大型特集番組などでは，番組の完成に併せて出演者やプロデューサーが出席する試写会を積極的に実施した。『NHK紅白歌合戦』をはじめとするエンターテインメント番組や子ども向け番組を含む各波の注目番組では，出演者決定のタイミングで記者会見を開いたほか，収録時などに合同取材や個別取材を数多く設定して対応した。

『大河ドラマ』「おんな城主　直虎」では，ドラマの展開に併せて戦略的にPRを行い，話題を集めた出演者の取材会を複数回開くなどして盛り上げを図った。

『連続テレビ小説』では，東京と大阪の広報が連携してPRを展開し，前期の「ひよっこ」は回を重ねるごとに大きく話題を集め，後期の「わろてんか」も安定して幅広い支持を得た。また，地域放送局制作ドラマの広報では各局と連携し，PRの全国展開を支援した。

『第68回NHK紅白歌合戦』では，出場歌手の発表記者会見に加えて，司会者の取材会も開くなどして切れ目なく情報を発信した。さらに司会者に限らず，「スペシャルゲスト」「曲目」「曲順」の決定時など節目ごとに報道発表を行ったほか，審査方法も丁寧に情報提供するなど，多彩な広報展開を図った。多くの媒体に取り上げられ，放送後に至るまで大きな話題となった。

「ピョンチャンオリンピック・パラリンピック」では，放送情報のほか，大会期間中の反響などもきめ細かく配信し，大会の盛り上げに貢献した。

◇放送総局長定例記者会見の主な内容

４月　日本国憲法施行から70年関連番組
　　『NHKスペシャル』「発達障害～解明される未知の世界～」
　　『趣味の園芸』50周年記念番組

５月　『NHKスペシャル』「ニッポンの家族が非常事態！？」
　　『BS1スペシャル』「知られざるトランプワールド」
　　『風雲！大歴史実験』「川中島の戦い」

６月　夏の特集　おすすめ番組
　　“戦争と平和”関連番組
　　『NHKスペシャル』「シリーズ ディープ・オーシャン」

７月　『NHKスペシャル』「MEGA　CRISIS 巨大危機Ⅱ」「731部隊の真実～エリート医学者と人体実験」
　　『８月31日の夜に。』「新学期の憂うつ　あなたの声に寄りそって」

９月　平成29年度後期番組改定
　　NHK・民放連共同ラジオキャンペーン
　　『NHKスペシャル』「シリーズ　人体　プロローグ～神秘の巨大ネットワーク」

10月　2020東京パラリンピック関連『アニ×パラ　あなたのヒーローは誰ですか』
　　『きょうの料理』11月で60歳
　　『NHKスペシャル』「ドラマ　龍馬　最後の30日」

11月　年末年始特集番組
　　『大河ドラマ』「西郷どん」関連番組
　　おとなのEテレ特番

12月　紅白ゲスト審査員決定・審査方法について
　　ピョンチャン五輪放送計画キャスター発表
　　『NHKスペシャル』「未解決事件　File.06～赤報隊事件　戦慄の銃弾　知られざる闇」

１月　『NHKスペシャル』東日本大震災関連番組
　　ピョンチャン五輪関連番組
　　ピョンチャン五輪・パラリンピック　ユニバーサル放送キャスター決定

２月　平成30年度番組改定
　　平成30年度番組キャスター発表
　　東日本大震災関連番組

３月　ピョンチャンパラリンピックの取り組み
　　熊本地震から２年
　　AFC女子アジアカップ（兼W杯予選）

Ⅲ．広報制作

視聴者に放送予定や放送番組の魅力，公共放送ならではのさまざまな取り組みを伝える，スポット，クラッチ，番組を制作･放送した。（表８・９）

また，ポスター，デジタルサイネージ，交通広告，新聞広告に加え，ホームページ，ツイッターといったデジタルコンテンツによる，多様な視聴者層獲得への取り組みを行った。また，スタジオパークの運営やさまざまなイベントへの参加を通して，番組や公共放送のPRに努めた。

１．広報番組

（１）番組広報

「番組スポット」（地上波２波・週およそ２時間15分，衛星２波・週およそ３時間）を中心に，地上・衛星波で，毎日，番組PRを放送した。

スタジオパークにさまざまなゲストを招く『土曜スタジオパーク』（生放送）は，番組の見どころや舞台裏などをたっぷりと伝えた。また，NHKの最新番組情報を毎週発信した。17年度は２回（茨城県常陸大宮市・大阪府門真市）公開生放送を行い，地域サービスにも努めた。そのほか『ごごナマ』の番組紹介コーナーやBSの番組をPRする『BSコンシェルジュ』を含め，多角的に広報番組を放送した。さらに，最新の番組制作情報，経営情報や番組の舞台裏などを紹介する『プレマップ』も随時放送した。

（２）経営広報

日曜の午前中に放送している『どーも、NHK』では，お薦め番組の情報や地域放送局の取り組みとともに最新の経営情報を伝えた。17年度は７回の放送に会長や理事が出演し，防災・減災報道，ピョンチャンオリンピック・パラリンピックの放送計画，スーパーハイビジョン（４K･８K）やNHKの予算と事業計画など経営の重点事項への取り組みについて直接視聴者に語りかけた。また，インターネットサービス，東京オリンピック・パラリンピックや国際放送への取り組みについても詳しく伝えた。

そのほか，公共放送NHKの役割を広く知ってもらうため，各部局や地域放送局の取り組みを紹介するミニ番組『ここに、公共放送』を制作・放送した。民放と連携して放送の公共的役割をアピールする「NHK-AC共同キャンペーン」では，「振り込め詐欺」をテーマにミニ番組を制作・放送した。受信料制度と受信料の公平負担への理解促進を目的に，通年で「BS契約」と「住所変更はネットでカンタン」をテーマに受信料広報キャンペーンを，３～５月の期間，一人暮らしを始める学生や新社会人向けには「フレッシャーズ・キャンペーン」を放送し，家族割引制度を歌とダンスで紹介した。そのほか，「NHKオンデマンド」の紹介，ニュース映像投稿システム「NHKスクープBOX」への投稿呼びかけ，「NHKニュース・防災アプリ」の紹介と利用をPRするミニ番組などを制作，通年で放送した。

また，18年度のNHK予算と事業計画についての衆議院・参議院の総務委員会の審議のもようをノーカットですべて放送した。

（３）そのほかの番組

ピョンチャンオリンピック・パラリンピックでは，活躍が期待される注目競技の選手が出演するスポットやクラッチを制作，総合テレビとBSで放送した。試験放送２年目に入った「NHKスーパーハイビジョン」は人気俳優のディーン・フジオカを継続して起用，ミニ番組，ポスター，リーフレットなどで多角的にPRを展開した。本放送１年前となる12月，ピョンチャンオリンピック開催の２月にかけては，デザインを切り替えて印象が強まるPRを行った。BS1，スポーツセンターと連携しアイドルグループの乃木坂46を起用して，６月から１年間の予定でサッカープロモーションを展開。第22回NHKハート展の関連ミニ番組を制作，全国巡回のイベント開催に併せて４月～18年２月まで随時放送した。NHK歳末たすけあい・海外たすけあいと連動した『あなたのやさしさを2017』は，今回から中継放送をやめ録画番組に変更，必要な情報をコンパクトに盛り込みつつ，国内や海外で支援の必要な現場のリポートを行いながら，募金を呼びかけた。

表８　広報番組一覧（2017年度）

	番組名	放送時間	備考
地上	どーも、NHK〔継続〕	総合　（日） 前11:20～11:54	番組情報のコーナー「週刊どーもナビ」はNSCに委託。そのほかは，本体制作。
	土曜スタジオパーク〔継続〕	総合　（土） 後 1:50～ 2:50 （生放送）	本体制作 （32本）
	BSコンシェルジュ〔継続〕	総合　（金） 後12:20～12:43ほか	NSCに委託 （45本）
	オシばん〔新〕	総合　（月～金） 後 8:43～ 8:45	NSCに委託 （211本）
	デジなび〔新〕	総合　（土） 第１・最終土曜以外 後 0:40～ 0:42	NSCに委託 （24本）
	スーパーハイビジョンなび〔新〕	総合　（土） 第１・最終土曜 後 0:40～ 0:42	NSCに委託 （13本）

	番組名	放送時間	備考
地上	地上波スポット〔継続〕	総合・Eテレ 随時（15秒・30秒・１分ほか）	本体制作
	経営広報スポット〔継続〕	地上・BS2波 随時（５秒・30秒・１分ほか）	NSCに委託
	中央放送番組審議会〔継続〕	総合　原則開催当月最終日曜 前 6:50～ 6:52	本体制作
	地方放送番組審議会〔継続〕	総合　原則開催翌月第２日曜 前 6:50～ 6:52	本体制作
	国際放送番組審議会〔継続〕	総合　原則開催当月最終日曜 前 5:45～ 5:47	本体制作
衛星	BSスポット〔継続〕	BS2波・地上 随時（15秒・30秒・１分）	NSCに委託
その他	BS普及推進スポット〔継続〕	BS2波・地上 随時（30秒・１分ほか）	NSCに委託
	政見経歴放送〔継続〕	総合・ラジオ第１ 随時	本体制作
	とっておきテレビ〔継続〕	ラジオ第１ 最終日曜 後 4:05～ 4:55	NSCに委託（12本）

表９　特集番組一覧（2017年度）

放送日	メディア	タイトル
３～５月	Gほか	受信料関連　家族割引「半額のうた」出演：岡田結実　５分・３分・１分他
３～６月	Gほか	らじる★らじるとラジオ新年度番組PRミニ番組など
３月～18年３月	Gほか	受信料関連　BS受信新規契約「BS契約のうた」スポット　出演：岡田結実
３月～18年３月	Gほか	受信料関連「引っ越し手続きをネットで」スポット　出演：中村アン
３～４月	Gほか	春の番組改定プロモーション　スポットなど
３～４月	G，BSPほか	BS春の番組改定プロモーション　スポットなど
３月～18年３月	G，BSPほか	BS普及キャンペーン　BS押し　出演：大泉洋
４月～	Gほか ネット	どーもくん汎用クラッチ　新作８本修正版９本　４月～期限なし
４月	Gほか	「ここに、公共放送」８K技術を医学に
４月	Gほか	プレマップ　第22回NHKハート展
５月３日	G	渋谷DEどーも2017を楽しもう！
５月	Gほか	「ここに、公共放送」NHKハート展
５月	Gほか	SHVプロモーション「体感だ」スポット　ディーン・フジオカ
５月	Gほか	SHV　ディーン・フジオカのオススメ番組・８K大相撲（夏場所）
６月	Gほか	「ここに、公共放送」最新の撮影技術でスポーツを
６～10月	Gほか	スクープBOX　PRスポット　NW9版・おは日版　各２分・１分
６月	Gほか	SHV　ディーン・フジオカのオススメ番組・ルーブル永遠の美
６月	Gほか	ディーン・フジオカのSHVの世界（５分・３分）
６月	BS1ほか	BS1サッカープロモーション「サッカー見たい！」　出演：乃木坂46
７月	Gほか	NHK－ACジャパン共同キャンペーン振り込めサギ　30秒・15秒
７月	Gほか	「ここに、公共放送」ロボコン30年育て！創造力
７月	Gほか	NHK受信料制度等検討委パブコメ募集　１分
７月	Gほか	SHV　ディーン・フジオカのオススメ番組・８K大相撲（名古屋場所）
７月	Gほか	SHV　ディーン・フジオカのオススメ番組・残響の街・長崎
７月	Gほか	NHK受信料制度等検討委パブコメ募集その２　１分
８月	Gほか	「ここに、公共放送」８Kでよみがえる原爆の絵
８月	Gほか	SHV　ディーン・フジオカのオススメ番組・ガウディが見た夢
９月	Gほか	NHK次期経営計画（2018-2020年度）策定に向けた意見募集周知スポット
９月	Gほか	「ここに、公共放送」安心を届ける「ニュース・防災アプリ」
９月	Gほか	SHV　ディーン・フジオカのオススメ番組・メガシティ大発光
10月	Gほか	「ここに、公共放送」ともに楽しむラジオ
10月～18年３月	G，BSPほか	BS普及キャンペーン　BS押し　出演：大泉洋　下半期版
10月	Gほか	SHV　ディーン・フジオカのオススメ番組・宝塚歌劇（月組公演）
10月～18年３月	Gほか	スクープBOX　PRスポット　N7版・NC11版　各２分・１分
10月～	Eほか	受信料広報キャンペーン「どーも、マンガです。」スポット　戦国マンガ編
11月	Gほか	「ここに、公共放送」パラスポーツの魅力発信
11月	Gほか	SHV　ディーン・フジオカのオススメ番組・プラネットアース２
11月～18年２月	BS1ほか	ピョンチャン五輪プロモーション　クラッチ，15秒スポット
11～12月	Gほか	NHK歳末たすけあい・海外たすけあい　PRスポット
12月１日	G・R1	平成29年度　きょうからNHK歳末・海外たすけあい
12月	G	NHK歳末たすけあい・海外たすけあい「あなたのやさしさを2017」
12月	Gほか	「ここに、公共放送」スーパーハイビジョン　報道の可能性を切り開く
12月～	G	緊急警報試験信号放送　作り替え
12月	Gほか	SHV　ディーン・フジオカのオススメ番組・草間彌生わが永遠の魂

放送日	メディア	タイトル
12月25日	G・R1	平成29年度　NHK歳末・海外たすけあいを終えて
12月31日	G	スタジオパーク　おおみそかスペシャル
１月	Gほか	NHKオンデマンド　スポット　２分・１分・30秒　出演：佐久間由衣，吉木りさ
１月～	Gほか	プレマップ　安心を届ける「ニュース・防災アプリ」
１月16日	G・R1	NHK次期経営計画決まる
１月	Gほか	「ここに、公共放送」AIを活用　五輪を多彩に伝える
１月	Gほか	BS右旋帯域再編に関わるBS放送休止措置告知スポット
１～２月	Gほか	スーパーハイビジョン試験放送PR　ディーンナビゲート　ピョンチャン版
１月	Gほか	SHV　ディーン・フジオカのオススメ番組・京都よみがえる黄金空間
１～２月	Gほか	社会福祉施設への受信料免除拡大の考え方への意見募集告知
２月	Gほか	「ここに、公共放送」365日放送を届ける　厳冬の送信所を守る
２～３月	Gほか	受信料広報キャンペーン「どーも、マンガです。」スポット　密着勇者編
２～３月	Gほか	ピョンチャンパラリンピックプロモーション　クラッチ，15秒スポット
３月	Gほか	「ここに、公共放送」被災地からの声を伝え続ける
３～５月	Gほか	フレッシャーズキャンペーン　30秒スポット
３月～	Gほか	第23回NHKハート展ミニ番組　10分・２分
３月～	Gほか	どーもくん　スポット（15秒版・30秒版）　クラッチ
３月～	BSP ほか	BS普及キャンペーン　BS押し　出演：吉田羊　15秒スポット，クラッチ
３月～	Gほか	受信料関連　BS契約　スポット　出演：福原遥
３月～	Gほか	受信料関連　住所変更はネットでかんたん　スポット　出演：福原遥
３月～	Gほか	BS1プロモーション　応援！BS1のアマチュアスポーツ　出演：岡本莉音
３月～	Gほか	BS1プロモーション　世界のドキュメンタリー　出演：朝比奈彩
３月	G	高校野球インターバル用スポット
３月23～24日	G・R1	NHK平成30年度予算審議～衆議院総務委員会～
３月30日	G・R1	NHK平成30年度予算審議～参議院総務委員会～

２．広報印刷物や広告などによる取り組み

（１）経営広報関連

①「平成29年度ことしの仕事」（本編２万部・資料編１万部）を作成。番組編成方針のほか各部局の事業計画を紹介し，全国各局の広報活動で使用した。

②小学５年生の社会科で学ぶ「放送局の仕事」の副読本として，放送の仕組みと公共放送の役割を解説した冊子「NHKジュニアブック」（38万部）と「ニュース番組ができるまで」（DVD：4,300枚）を作成。全国の放送局を通じ，希望する小学校に配布した。また，聴覚障害者向けに字幕版DVDを併せて作成し，全国のろう学校等に配布した。DVDの動画はNHKオンラインにも掲載。さらに語学番組，クラシック音楽番組など，公共放送ならではの番組を紹介するための企画広告を実施した。

③17年度番組改定の「放送番組時刻表」を各拠点局別に作成し，各放送局の視聴者対応に活用された。併せて視覚障害者向けに「点字番組時刻表」「音声CD版　番組時刻表」も作成し全国の盲学校・点字図書館など社会福祉施設に配布した。また，音声版時刻表はNHKオンラインからのダウンロードサービスを行うとともに，視覚障害者向けのラジオ番組で点字時刻表の配布周知を行った。広報局から全国希望者への直接発送も継続し，各局の負担軽減を図った。

（２）番組広報関連

①『大河ドラマ』や『連続テレビ小説』のポスター，リーフレット，メーキングDVD等を作成・配布し，全国の視聴者イベントや営業活動現場で活用した。「ひよっこ」では常磐線や水戸市内バスなどで相互協力によるラッピングを実施した。「西郷どん」では，相互協力でJR九州新幹線などご当地を走るラッピングトレインを実施した。

②広報イベント・展示

地域のNHKと視聴者との接点として，「NHKどーもくんPARK」の運用を８月からスタートした。家族で楽しめるゲームなどのアトラクションや番組関連展示など，NHKへの理解を深めるための活動を行った。アトラクションや展示アイテムのバリエーションを確保することで，開催場所や規模など，多様な条件に応じて柔軟に展開し，17年度は九州・関東・中国地方の５局で計５回開催，延べ１万3,000人が来場した。

国際放送の認知度向上に向けた取り組みとして，成田空港で「NHK WORLD TV」プロモーションイベントを開催した。大相撲九州場所の開催期間に併せた実施で『GRAND SUMO Highlights』や番組サイト，スマホアプリの周知広報を軸に展開し，日本人を含めた合計32か国，約3,000人が来場。アプリのダウンロード率はその６割強に上った。（成田空港Visitor Service Center，会期：11.11～19）

③『大河ドラマ』「西郷どん」,『連続テレビ小説』「半分、青い。」の舞台地局支援

「OA前に早期の番組PRによって地元でNHKの存在感を高めたい」というニーズに応えるため，鹿児島局，岐阜局などと連携しながら広報活動に取り組んだ。

（３）新たな広報活動への取り組み

15年冬から４年連続で「コミックマーケット」にブース出展した。放送中のアニメ番組に特化した展示内容が日頃NHKに無関心な若年層の間で話題となり，SNSなどで拡散した。また，会場でメディアの取材を受け，記事がウェブのまとめサイトなどで多数取り上げられたことで高いパブリシティー効果も得られた。（東京ビッグサイト，会期：12.29～31，来場者数：55万人）

（４）ピョンチャンオリンピック・パラリンピックの広報展開

韓国・ピョンチャンで開催されたオリンピック（２月）・パラリンピック（３月）放送を，ポスター・パンフレットなどの広報物や，新聞・雑誌広告やウェブ広告などを活用して周知した。とりわけパラリンピックについては，障害者スポーツへの視聴者の関心を高められるよう，リオ大会（16年夏季）以上に広報展開の拡充を図った。

また，NHKスタジオパークでも関連展示を行い，およそ3万4,000人が来場した。（会期：2.6～3.18）

（５）受信料広報関連　未接触者層へのアプローチ

24～40代現役世代の未接触者層に継続的にアプローチするために，ネットマンガという親しみやすいコンテンツを通じて，公共放送や受信料制度について訴求する特設サイト「どーも、マンガです。」を展開。マンガ作家ら本人のツイートや，豪華声優陣が参加したPRスポットの広告展開を実施した。

（６）フレッシャーズキャンペーン

YouTubeやオンエアスポットでNHKの魅力や受信料の必要性を伝え，キャンペーンサイトで公共放送の意義や受信料制度を丁寧に説明する施策を17年度も実施。大学生を中心に人気のロックバンド「ヤバイTシャツ屋さん」がNHKをテーマにした曲を書き下ろし，それに併せてNHKの人気番組やキャラクターが登場する動画を制作した。

動画やサイトの公開初日には，ツイッターのトレンド（話題ランキング）入りし，大きな話題となった。また，営業現場で使用するリーフレットやポスターなども併せて制作，駅広告を掲出した。

３．インターネットによる広報

①経営情報ホームページでは，経営企画局や経理局・営業局などからの各種掲載依頼に対してスピーディーな情報更新に努めた。

②年間を通じて開設している『大河ドラマ』『連続テレビ小説』の公式ホームページではファンを引き付ける企画の充実とともに，LINEやインスタグラム，ツイッターなどSNSとも連携して展開した。

③広報局制作部で運営するウェブサイト「NHK_PR」は，番組情報をいち早く発信する「速報・会見」コンテンツを強化。大型番組だけでなく，サブカルチャー，アニメなど若年層が支持する番組情報を積極的に発信した。また「夏の特集番組まとめ」「年末のクラシック番組まとめ」「芸祭参加番組まとめ」など，番組情報をコンパクトにまとめたページを積極的に作成し，多くのアクセスを集めた。サイト訪問者は16年度を大きく上回った。

④SNSによる広報は，フェイスブック，ツイッターに加え，インスタグラムアカウント「NHK_animal」を開設。特に若い女性への訴求をねらい「かわいい動物」に特化して投稿した。

SNSでの動画投稿も本格的に開始。番組や編成と連携し，ウェブ独自の動画コンテンツを積極的に発信した。特にツイッターアカウント「NHK_PR」では，動画が人気コンテンツとなった。

フォロワー数200万人突破に際しては，「ありがとう動画」の投稿を募ったほか，「手書きアイコン募集」などの特別企画も実施し，ユーザーと同じ目線で発信するアカウントとしてさらに認知度を向上させた。

⑤ピョンチャンオリンピックの広報として，ツイッターネット界で人気の「はに丸」とタッグを組み，「冬の広報大使はに丸オリンピックネタツイートを発信」というスタイルで競技や選手に関する面白情報を提供。従来，スポーツにあまり関心のないNHK_PRフォロワー層をオリンピック関連サイトへ誘導した。

営　業

営業の活動全般

（１）営業拠点

受信契約の徹底と受信料の確実な収納を図るため，各地域放送局内の営業部のほかに，大都市圏

地域を中心に18の営業センターを置いている。全国合わせて62の営業部と営業センターを営業活動の拠点としている。各営業拠点では，地域別や業務内容別（地域スタッフ法人委託対応，事業所対応，お客様対応など）に業務実施グループを編成し，営業活動を実施している。

（２）営業活動単位

①営業職員

地域スタッフの指導や法人委託事業者の支援活動，ケーブルテレビ･事業所などとの渉外業務や，視聴者からの問い合わせ対応，地域状況の分析を行う。また，受信料の契約・収納業務を行う。

②地域スタッフ

委託契約に基づき，受信料の契約・収納業務を行う。

③法人委託

委託契約に基づき，受信料の契約・収納業務を行う。電器店や不動産会社等，契約業務のみを行う場合もある。

Ⅰ．受信契約

１．受信契約者の維持・増加活動

大都市圏を中心として，単身世帯等の面接困難世帯の増加や経済状況の低迷等の影響により，営業活動を取り巻く環境はますます厳しさを増している。

こうした中で，法人事業者への契約・収納業務委託を段階的に拡大するなど効率的な営業体制の構築を図るとともに，未契約・未収者への早期対応に向け，携帯端末に登録した情報に基づく活動をはじめ，土日祝の面接好適日や夜間などの好適時間帯による対策にも積極的に取り組んだ。

さらに，衛星放送の普及促進に不可欠なケーブルテレビ事業者や電器店などと連携した活動や，マンション入居者対策として不動産事業者との業務委託による契約取り次ぎ活動を展開した。

そのほか，BS対応機器に同梱される「ファーストステップガイド」への衛星契約書の封入や，CASメッセージ機能やダイレクトメールを活用した契約勧奨，「受信料の窓口」（インターネット営業センター）や「NHKフリーダイヤル」による受信契約・住所変更の受け付けを行った。

17年度の契約総数（有料無料計）は，年間で81万件増加し，年度末における契約総数は4,397万件（有料無料計）となった。

２．事業所などの受信契約

家庭に設置されたテレビなど受信機の受信契約は，受信機の台数にかかわらず１世帯１契約としているが，会社・官公庁・ホテル・旅館・病院などいわゆる事業所の場合は，テレビの設置場所ごとに受信契約が必要となっている（放送受信規約第２条）。

17年度は，16年度に引き続き，同一敷地内全数契約を条件とした事業所割引や業界団体への業務委託を活用するなど，公平負担の徹底に向けたきめ細かい活動を全国的に展開した。

その結果，年間で21万件の受信契約件数の増加となり，年度末の事業所契約件数は341万件となった。

３．営業システム

受信料の請求，収納など営業活動の支援は，営業システム「EGGS」を活用している。併せて，より効率的・効果的な訪問活動を目指して導入した携帯端末システムを15年10月より運用している。

近年，「受信料の窓口」（インターネット営業センター）からの受信契約や住所変更等の手続き数が増加しており，とりわけ17年度は飛躍的に増加した。インターネットによる各種手続きのユーザビリティー改善に向けて継続的に取り組んできた。

また，EGGSホストシステムの片系を更新し，営業システムの安定運用に努めている。さらに，システム被災時に備え，業務継続に向けたバックアップ機能の整備を進めたほか，一層のセキュリティー強化策を施した。

なお，14年度より実施してきた営業拠点の再編成について，最終年度の対応を無事に終了した。

Ⅱ．受信料の収納

１．口座振替など間接収納の促進

受信料の収納は，口座振替・クレジットカード等継続払・継続振込によって行っている。

近年，単身世帯や共働き世帯の増加，オートロックマンションの普及などにより面接困難世帯の割合が高くなり，営業活動の困難度も増している。

こうした中で，収納の安定化や効率的業務推進のため，これまで口座振替の拡大を進めてきたが，06年６月からは「クレジットカード継続払」の支

払いを開始し，17年度末の利用件数は608万件となった。

振込用紙発送時や新規の受信契約を取り次ぐときに，口座振替・クレジットカード等継続払の利用推奨を積極的に行っているほか，ダイレクトメールによる勧奨も実施している。

17年度末の口座振替・クレジットカード継続払による受信料支払い件数は3,270万件で，これらの利用割合は79.7％となった。

２．受信料の収納体制

①口座振替は，都市銀行，地方銀行，第二地方銀行，信用金庫，信用組合，労働金庫，農協，漁協，ゆうちょ銀行，ネット銀行の一部が利用可能となっている。
②クレジットカード等継続払は，17年度末時点で19ブランドのカードが利用可能となっている。また，NTT電話料金との一括支払いや「Yahoo！公金支払い」を通じての支払いが利用可能となっている。
③継続振込の取り扱い窓口は，都市銀行，地方銀行，第二地方銀行，信用金庫，農協，コンビニエンスストア，ゆうちょ銀行または郵便局である。

このほか，ケーブルテレビ事業者による衛星受信料「団体一括支払」制度により，収納の安定的かつ効率的な推進に努めた。

３．メッセージ機能の活用

BS放送の設置確認を効果的に行い，受信料の公平負担を徹底するため，BS放送のテレビ画面に，BS受信機の設置についてNHKへの連絡を促す設置確認メッセージを表示している。

BS放送の視聴開始30日後から，NHKのBS放送にチャンネルを合わせるたびに，テレビ画面の左下隅に設置確認メッセージが表示される。

画面に表示されたいずれかの方法で，B-CAS（ビーキャス）カード番号，名前や住所などをNHKに連絡すると，設置確認メッセージ表示の消去を受け付ける。NHKでは，この情報を基に，契約状況を確認し，衛星契約が済んでいない人には，契約の依頼を行っている。さらに，受信機設置の連絡後，一定期間を経てもなお衛星契約の届けがない場合に契約案内メッセージを表示する運用を10年12月から開始している。

【受信機設置のご連絡のお願い】
NHKでは，衛星契約済みの方も含め，衛星放送受信機ごとに，設置のご連絡をお願いしております。メッセージの消去方法は，リモコンの青ボタンを５秒以上押すと表示されます。
電話の場合は0120-933-933

また，BS対応受信機にこん包されている「BSデジタル機器設置連絡票」を，受信機購入後速やかに投かんすれば，あらかじめ設置確認メッセージが表示されないようにすることもできる。

※B-CASカード
BS対応受信機には，ICチップのついたB-CASカードが必ず添付されている。

著作権を保護するコピー制御の仕組みがあるため，BS放送を視聴するためには，このカードを受信機の所定の場所に差し込む必要がある。このカードの機能により，メッセージの表示のほかに，WOWOWなどのスクランブル放送や，高度な双方向サービスといったBS放送の魅力的なサービスを，十分に楽しむことができるようになっている。

Ⅲ．視聴者との回路作り

１．視聴者との結び付き強化

（１）受信料の支払率向上に向けた視聴者対応

公開番組や各種イベントなど，家族連れや若者が多い場に出向き，受信料制度や公共放送の役割などを伝える理解促進活動を積極的に展開した。

①理解促進ツールの拡充

公共放送・受信料制度に対する理解促進については，リーフレット以外にもインターネットホームページを積極的に活用し，支持層の拡大を図った。また，公開番組の収録時において，開演前のあいさつを兼ねた受信料制度の説明や理解促進活動を行った。

②地域スタッフ・法人委託への情報提供と研修

地域スタッフや法人委託事業者の訪問員が視聴者を訪問する際に，ニーズに応じた番組の案内ができるように，毎週の番組情報を定期的に提供した。さらに，視聴者との対応スキル向上，視聴者の立場に立った営業活動の在り方，番組情報などを内容とする研修ビデオを制作した。

（２）放送番組などを活用した視聴者対応

全国各地の放送局において，放送番組やイベントを通じて視聴者と積極的な交流を図り，公共放送の理解促進に努めた。

公開番組・イベントと連動した営業活動

各地の視聴者との交流を図るため，公開番組や各種イベントと連動した営業活動を実施する「エリアターゲット」を全国で展開したほか，地域向け放送などを通じ，地域放送局が主体となって幅広い理解促進活動を実施した。

２．視聴者の意向吸収と業務への反映

視聴者意向の吸収

職員や地域スタッフ，法人委託などによる訪問活動や電話対応など日常の営業活動の中で，視聴者意向の吸収に努めた。

３．NHKふれあいセンター（受信料関係）

東京・大阪・福岡・仙台の４つのふれあいセンター（営業）で，視聴者からの電話による「放送受信契約の申し出」「受信料関係の問い合わせ」の受付業務を実施した。毎年多くの転居連絡を受ける４月の引っ越しシーズンには手厚い対応体制を整えた。一方で，口座振替の利用勧奨や継続振込等の入金依頼など，受信契約者へのアウトバウンド業務も積極的に展開した。

また，東京のふれあいセンター（営業）では，インターネットによる受信契約や住所変更，受信料の支払方法変更などの申し出に対応する「インターネット営業センター」業務を行ったほか，BS放送の「メッセージ消去」については，メッセージ消去の受け付けと同時に衛星契約の届け出を受理する取り組みの充実を図った。